

添付資料1 第3次小山市情報化基本計画策定にあたっての  
市民アンケート調査結果  
～ICT（情報通信技術）を活用したまちづくり～

小山市  
令和3年4月

---

《 目次 》

第1章 調査概要

- 1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査手法・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・ 3

第2章 調査結果

- 1. 情報機器利用環境等の実態・・・・・・・・ 6
- 2. 行政サービスの利用・・・・・・・・ 11

## 第1章 調査概要

### 1. 目的

小山市（以下「本市」という。）における情報化推進の方向性を示す「第3次小山市情報化基本計画（計画期間令和3年度～令和7年度）」の策定に先立ち、本市の情報化施策への取り組みに対する市民の考えや意識をお聴きすることで市民ニーズの把握を行い、今後のICT（情報通信技術）を活用した様々な取り組みを検討します。

このために市民アンケート「ICTを活用したまちづくりについて」を実施しました。

### 2. 調査手法

#### （1）調査方式

市民アンケート調査（以下「本アンケート」という。）は、市民を対象にした郵送によるアンケートと小山市公式ホームページから回答するWebアンケートによる2通りの方式にて行っています。

この結果は、郵送方式によるアンケートには574人（回答率19.1%）、Web方式によるアンケートには79人、合計653人の方から回答をいただきました。（サンプル数n=653）

表1-1. 郵送方式によるアンケート

No.	項目	内容
1	調査テーマ	ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりについて
2	調査期間	令和2年7月6日（月）～7月22日（水）
3	調査対象者	18歳以上の市民3,000人（令和2年7月1日現在）
4	対象者選定方法	小山市住民基本台帳登録者より無作為抽出
5	実施方法	郵送によるアンケート調査票の配布及び回収
6	回答数及び回答率	574人／19.1%

表1-2. Web方式によるアンケート

No.	項目	内容
1	調査テーマ	ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりについて
2	調査期間	令和2年6月30日（火）～7月21日（火）
3	調査対象者	任意
4	実施方法	小山市公式ホームページからのアンケート調査項目入力
5	回答数	79人

## (2) 調査項目

本アンケートにおける調査項目は、次のとおりです。

表1-3. 調査項目について

No.	項目	内容
1	回答者の属性について	回答者の属性を把握し、統計分析をするための基礎データとする。 (1) 性別 (2) 年齢 (3) 職業 (4) 居住地区 (5) 家族構成 (6) 住民期間
2	情報機器利用環境等の実態について	市民の情報機器の所有・利用状況やインターネット利用状況を把握する。 (1) 情報メディアの所有および利用状況 (2) インターネットの利用状況 (3) インターネット利用への不安 (4) インターネット未利用の理由 (5) キャッシュレス決済の利用状況 (6) テレワークおよびオンライン授業の利用状況
3	行政サービスの利用状況について	行政サービスの利用状況を把握する。 (1) 情報化施策に対する期待 (2) 各種行政サービス・地域情報の満足度 (3) 各種行政サービス・地域情報の入手方法 (4) 電子行政サービスの利用状況 (5) 電子行政サービスを利用しない理由 (6) 利用しているキャッシュレス決済方法 (7) 情報化への不安 (8) 情報化支援への要望 (9) メール配信サービスへの意見 (10) メール配信サービスで配信を希望する情報 (11) オープンデータ化への要望 (12) ホームページへの意見 (13) ホームページへ要望するサービス (14) 情報化施策への要望

### 3. 回答者の属性

#### (1) 性別

アンケート回答者の性別について、有効な回答における構成割合と小山市民全体の構成割合とは以下のとおりです。

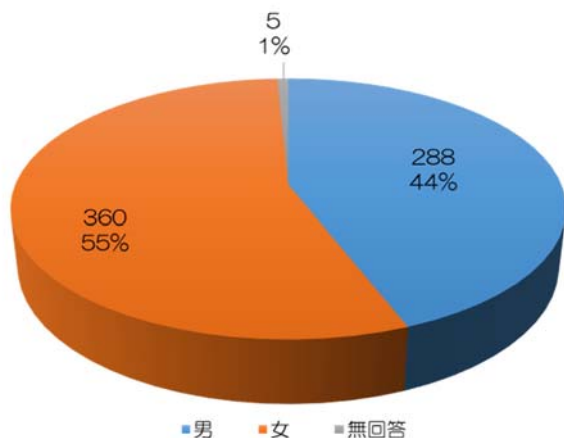


図1-1. 回答者の性別構成割合

住民基本台帳人口 = 167,548  
(令和2年6月1日現在)

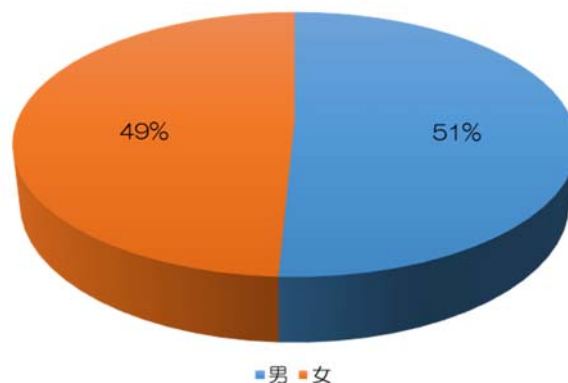


図1-2. 市民全体の性別構成割合

#### (2) 年齢

アンケート回答者の年齢について、有効な回答における構成割合と小山市民全体の構成割合とは以下のとおりです。

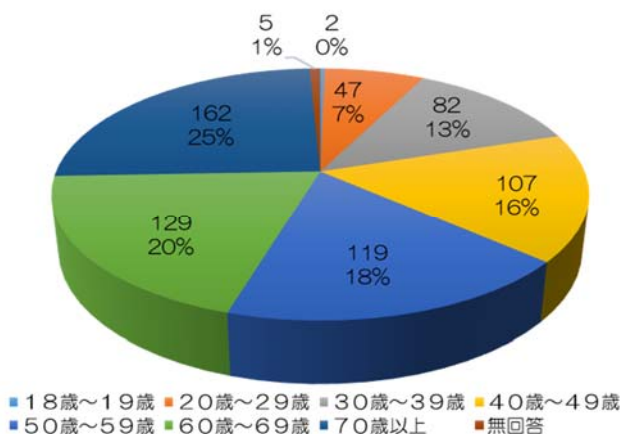


図1-3. 回答者の年齢構成割合

住民基本台帳人口  
(令和2年6月1日現在)

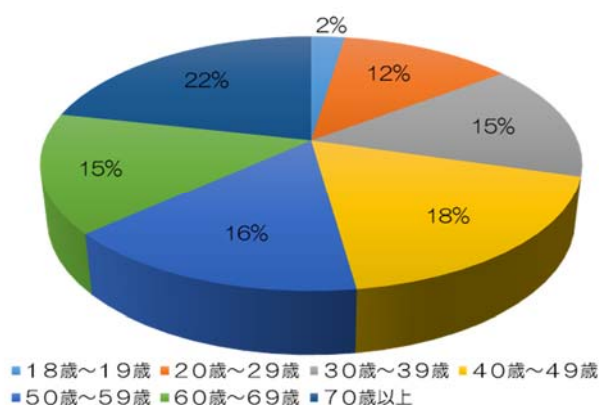


図1-4. 市民全体の年齢構成割合

(3) 職業

アンケート回答者の職業について、有効な回答における構成割合は以下のとおりです。

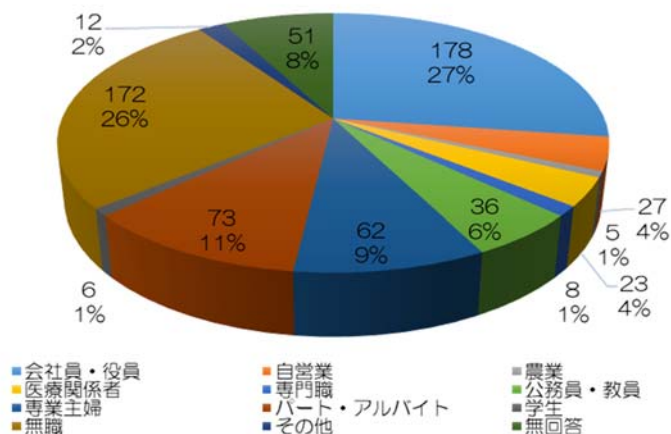


図1-5. 回答者の職業構成割合

(4) 居住地区

アンケート回答者の居住地区について、有効な回答における構成割合と小山市民全体の構成割合とは以下のとおりです。

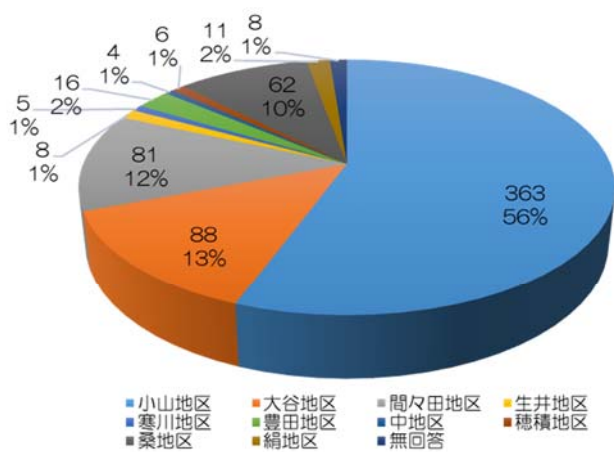


図1-6. 回答者の居住地区構成割合

住民基本台帳人口  
(令和2年6月1日現在)

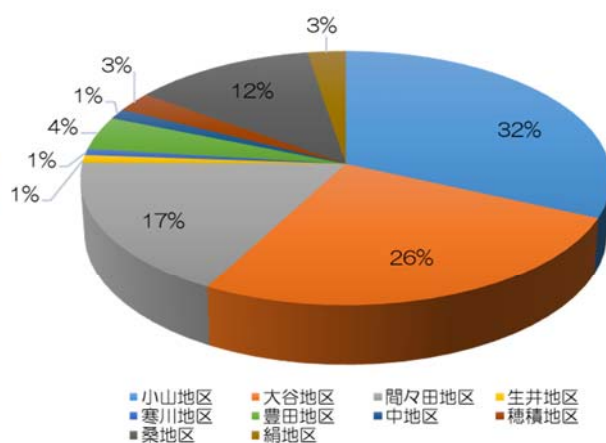


図1-7. 市民全体の居住地区構成割合

## (5) 家族構成

アンケート回答者の家族構成について、有効な回答における構成割合は以下のとおりです。

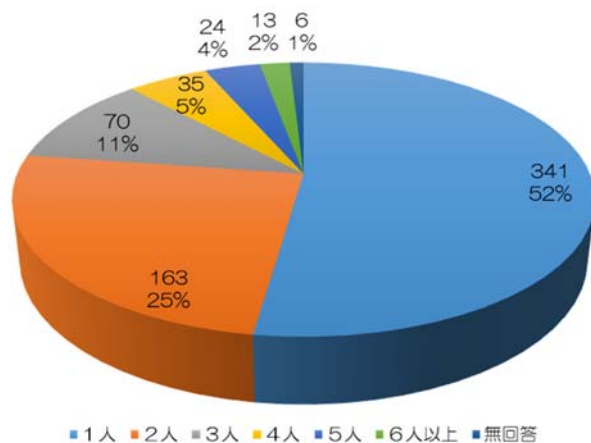


図1-8. 回答者の家族構成割合

## (6) 住民期間

アンケート回答者の住民期間について、有効な回答における構成割合は以下のとおりです。

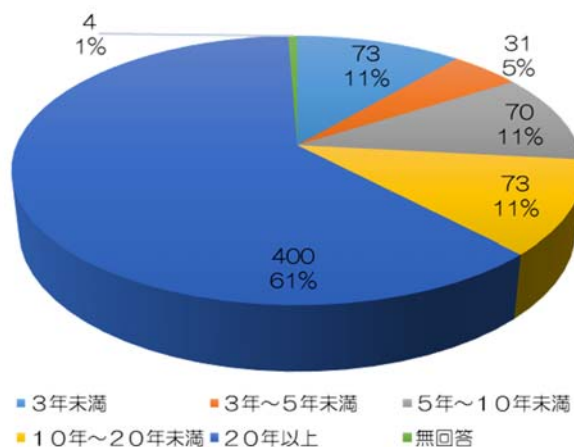


図1-9. 回答者の住民期間構成割合

## 第2章 調査結果

### 1. 情報機器利用環境等の実態

#### (1) 情報メディアの利用状況

市民が家庭での情報メディアの利用状況について、以下のとおりです。

テレビ、スマートフォンを利用している方が7割以上で情報メディアの上位を占めています。パソコンよりスマートフォンを利用している人が多く、新聞を読んでいる人は、50%を下回っています。

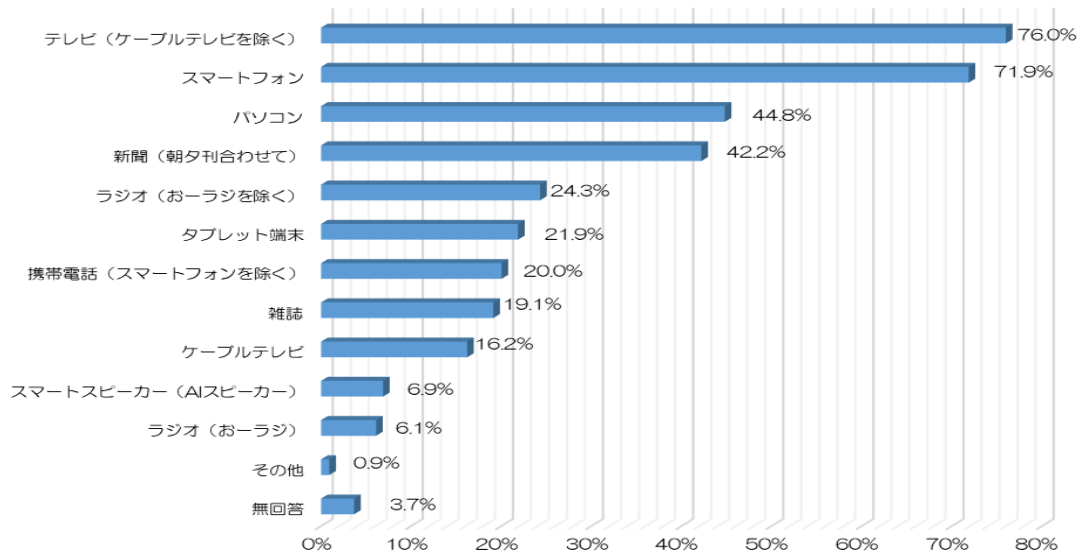


図2-1. 情報メディアの利用状況

年代別に見ると、40歳代以下の世代では、9割以上の方がスマートフォンを情報機器として所有しており、50歳代、60歳代も約7割がスマートフォンを所有しています。70歳以上の世代でも4割以上の方がスマートフォンを所有しており、全ての世代でパソコンの所有率より多くなっています。どこでも手軽に使えるスマートフォンの利用が浸透していることが伺えます。

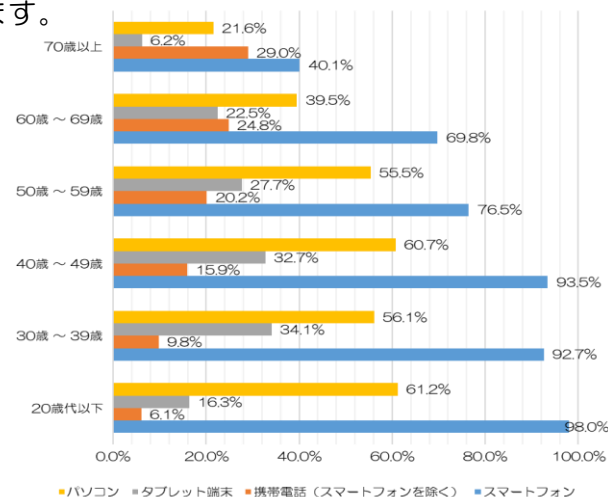


図2-2. 年代別情報メディアの利用状況



各種情報メディアにおける1日あたりの利用時間は、以下のとおりです。

スマートフォン、パソコンについては2時間以上利用している方が約6割です。スマートフォンは、外出時でも利用可能ですが、利用時間の割合は、同じような結果になりました。3時間以上利用している方は、どちらも3割を超えており、日常生活において電子機器の利用の占める割合が多くなってきていることが伺えます。

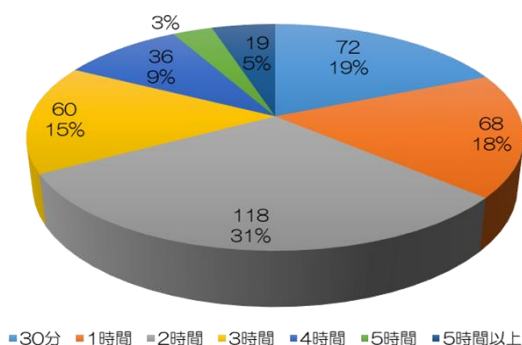


図2-3. スマートフォン利用時間

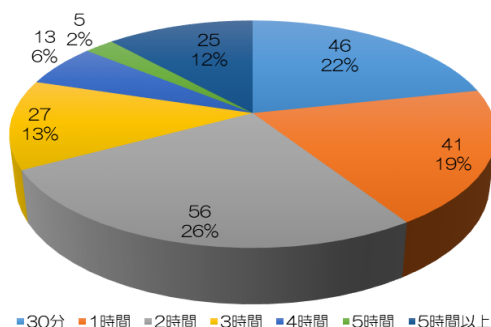


図2-4. パソコン利用時間

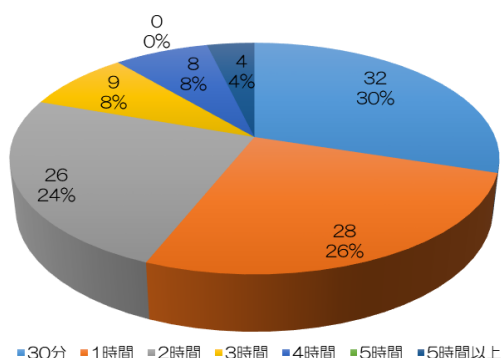


図2-5. タブレット利用時間

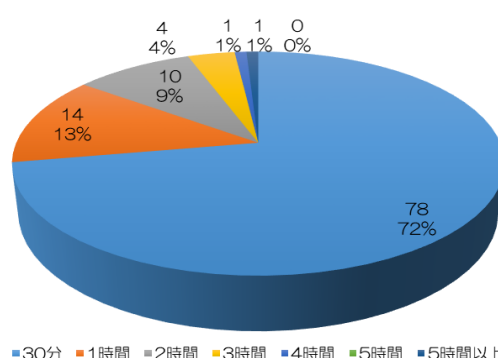


図2-6. 携帯電話・PHS利用時間

テレビの視聴時間では、4時間以上利用している方が50%を超えています。他の情報メディアと比較して、長時間の利用者が多いことが特徴です。また、紙媒体の閲読時間は、2時間以内と回答した方が9割を超えており情報メディアのデジタル化が浸透しています。

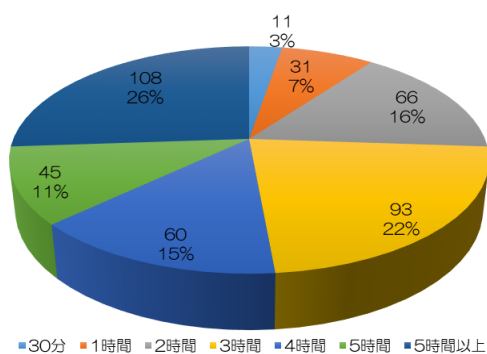


図2-7. テレビ視聴時間

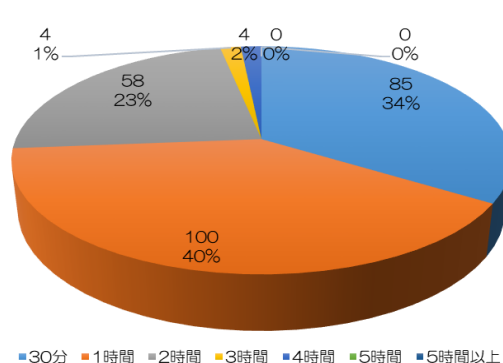
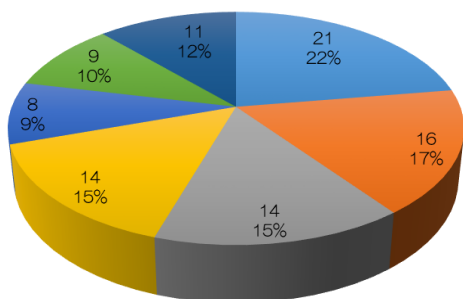
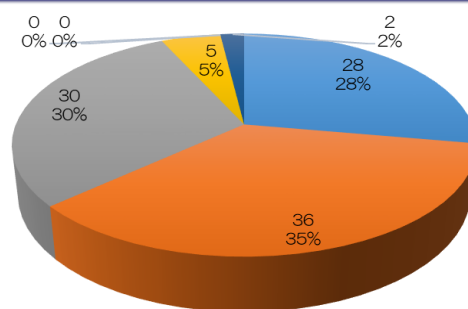


図2-8. 新聞閲読時間



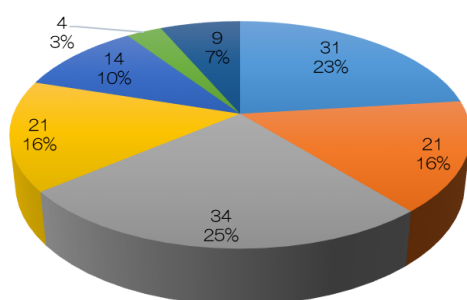
■30分 ■1時間 ■2時間 ■3時間 ■4時間 ■5時間 ■5時間以上

図2-9. ケーブルテレビ視聴時間



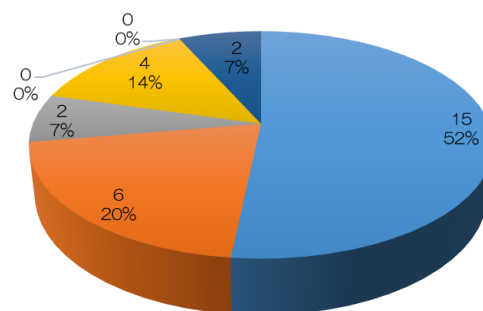
■30分 ■1時間 ■2時間 ■3時間 ■4時間 ■5時間 ■5時間以上

図2-10. 雑誌閲読時間



■30分 ■1時間 ■2時間 ■3時間 ■4時間 ■5時間 ■5時間以上

図2-11. ラジオ視聴時間



■30分 ■1時間 ■2時間 ■3時間 ■4時間 ■5時間 ■5時間以上

図2-12. おーラジ視聴時間

(2) インターネット利用目的

家庭でのインターネットの利用目的について、以下のとおりです。

ニュース・天気予報や各種ホームページ・ブログやなど日常生活で必要となる情報を閲覧することを主な目的としています。オンラインショッピングや地図情報提供サービス、動画投稿サイトや電子メールの利用についても4割近くを占めています。

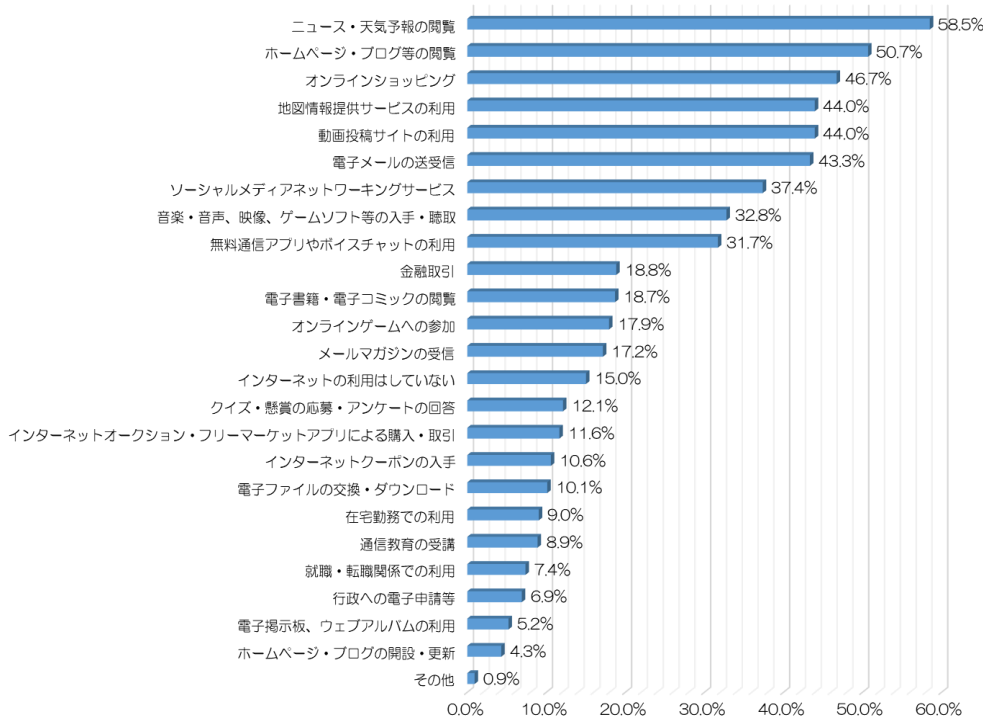


図2-13. インターネット利用目的

その他のインターネット利用目的としては、教育番組の視聴や、アプリを使用するの事務処理・製作、株式情報等がありました。

年代別に見ると、ニュース・天気予報の閲覧は、20～50歳代が7割を超えており、多くの年代が利用しています。一方、動画投稿サイトやSNSは、20歳代、30歳代の利用が特に多くなっており、無料通話アプリやボイスチャットの利用は、20歳代だけが7割を超えています。

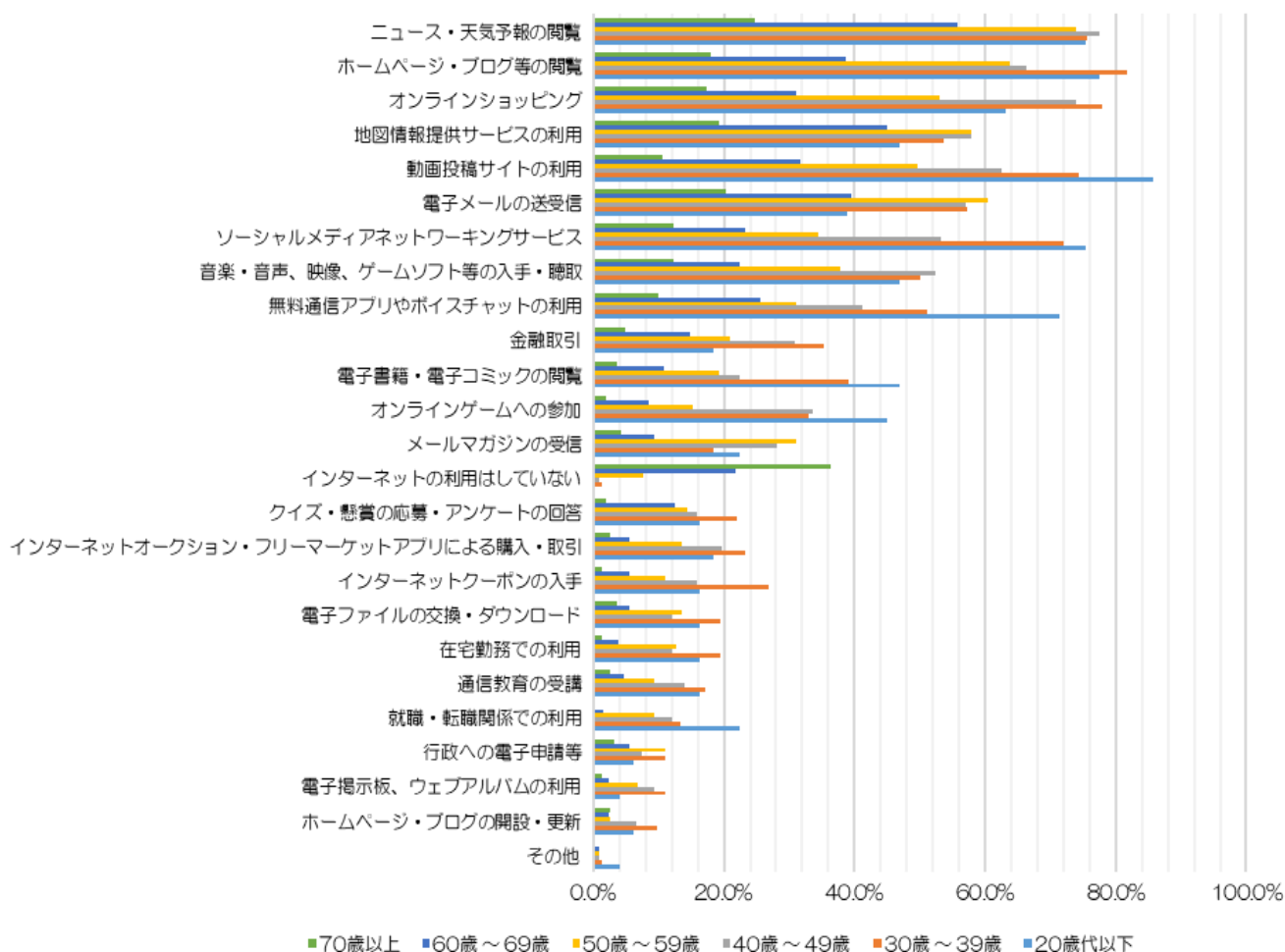


図2-14. 年代別インターネット利用目的

(3) インターネット未利用の理由

インターネットを利用しない理由としては、「必要性がない」が一番多く、「特に理由がない」、「興味がない」などインターネットを通じた情報収集や発信を積極的に必要としていないようです

また、「インターネットがわからない」、「情報機器の操作方法、設定が難しい」、「安全性に不安がある」、「きっかけがない」など、情報に関する支援などを行うことにより、インターネットを利用される方も潜在的に存在するようです。特に、60歳以上の方に顕著な傾向がみられます。

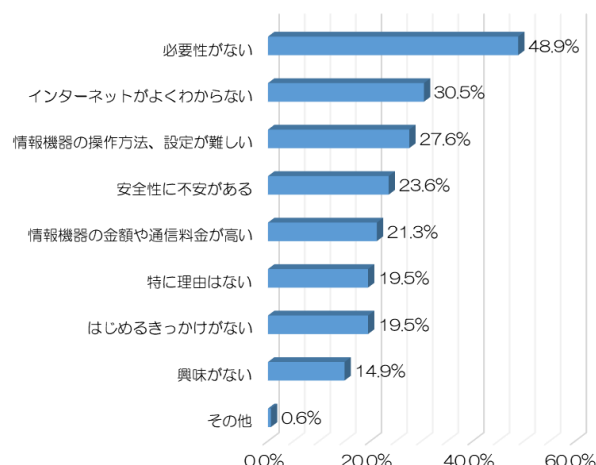


図2-15. インターネット未利用理由

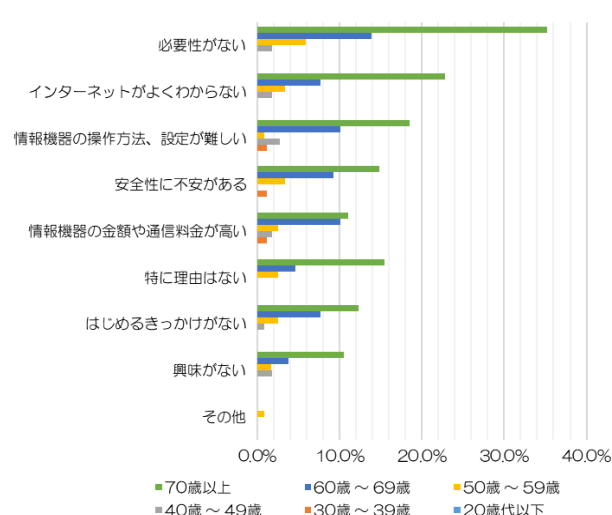


図2-16. インターネット未利用理由 (年代別)

(4) キャッシュレス決済の利用状況

キャッシュレス決済の利用状況については、以下のとおりです。

クレジットカード、銀行振り込み・銀行引き落としは、5割を超える方が利用しています。スマホ決済については、年代が若くなるほど利用率は高くなっています。

キャッシュレス決済の意味のとらえ方に違いがあったようで、キャッシュレス決済利用者と未利用者の合計人数が回答者数 653 名を超えています。

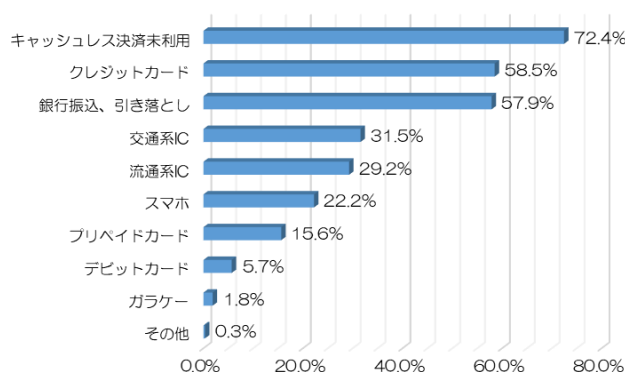


図2-17. 電子マネー利用状況

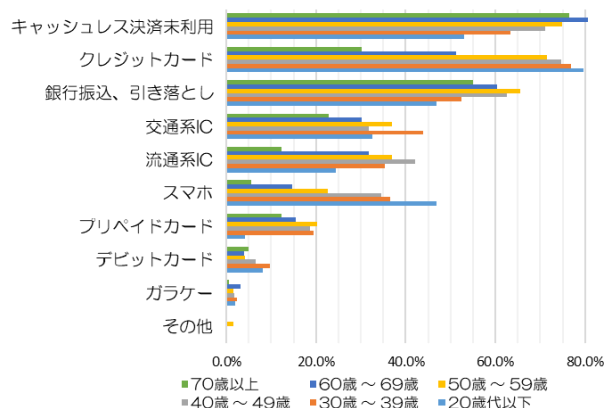


図2-18. 電子マネー利用状況 (年代別)

## 2. 行政サービスの利用

### (1) 情報化施策に対する期待

本市の情報化施策に対して期待することは、以下のとおりです。

#### ① 市民サービスの利便性向上

ひとつの窓口で複数の手続きが完了するワンストップ窓口の実現を5割以上の方が期待しており、その他、住民票や証明書の添付書類の削減や手続きのオンライン化など、窓口対応に関する多くの期待をされています。ワンストップ窓口は、高い年齢層の方が期待しており、窓口のオンライン化は、若い年齢層の方が期待しています。

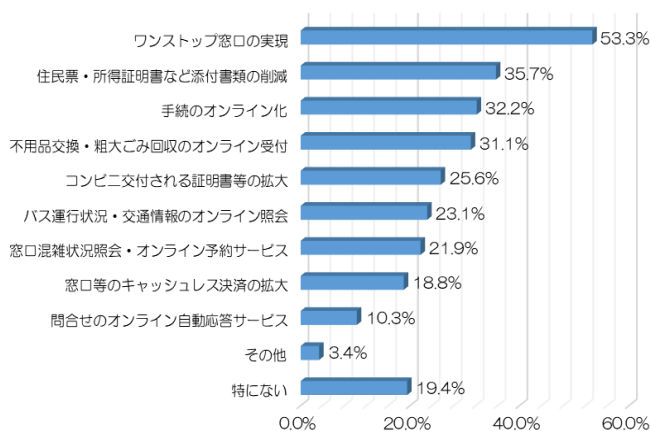


図2-19. 市民サービスの利便性向上

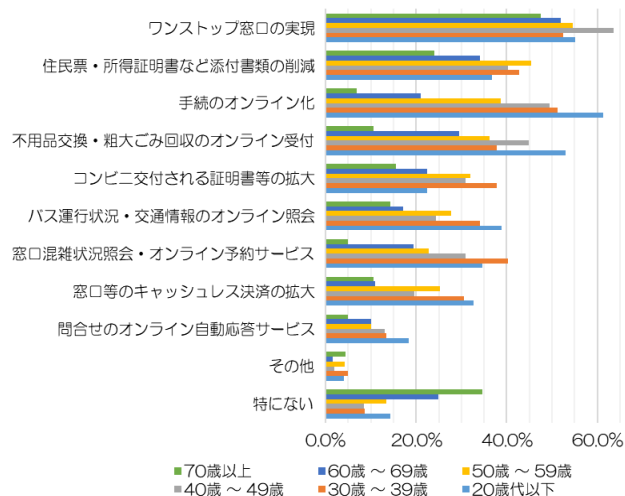


図2-20. 市民サービスの利便性向上  
(年代別)

#### ② 安全・安心なまちづくり

災害発生時の迅速かつ確実な緊急速報の提供を7割を超える方が期待しており、休日夜間の医療関係の情報や避難所などの防災情報の提供も5割を超えています。災害に対する備えや災害発生時の緊急速報に関する施策には、特に期待が高いようです。

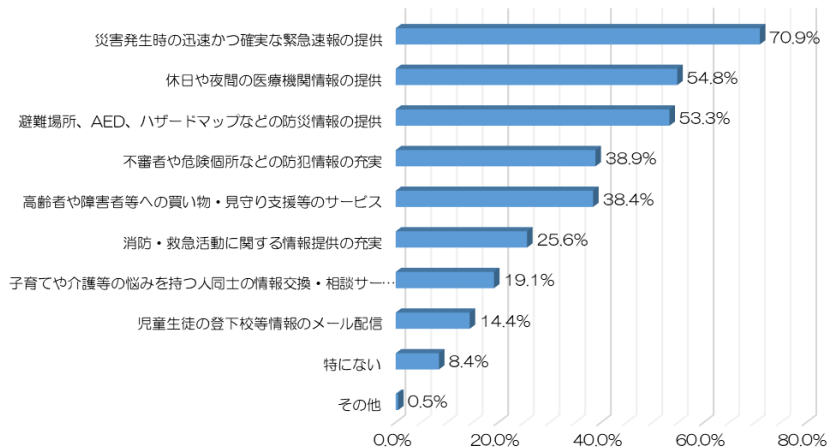


図2-21. 安全・安心なまちづくり

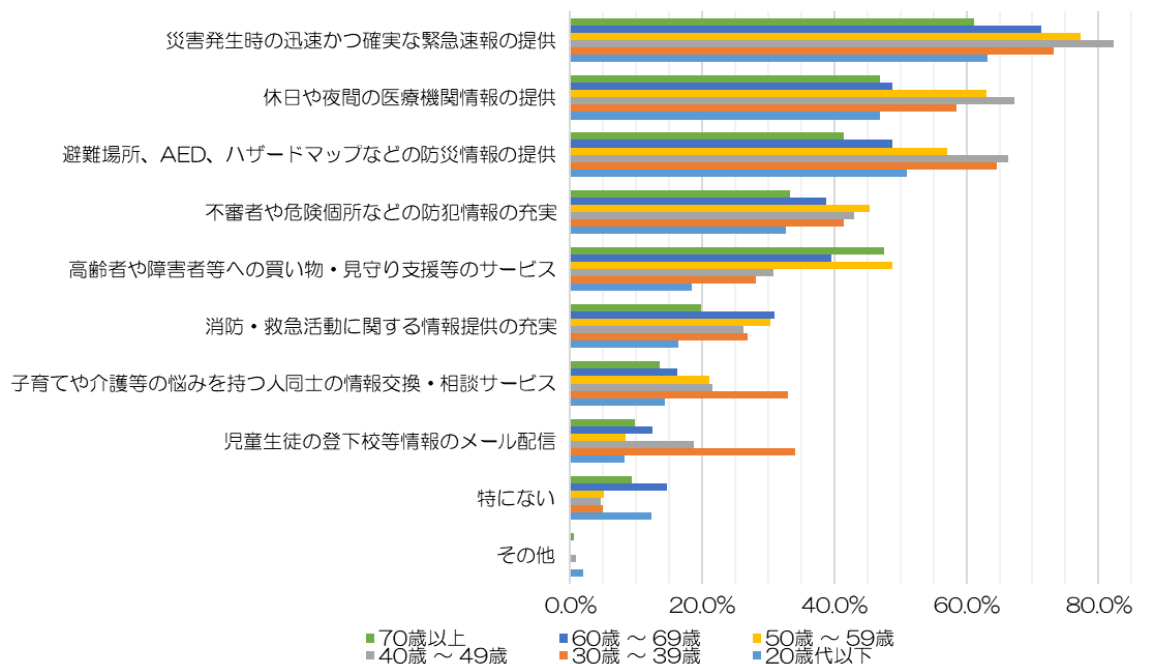


図2-22. 安全・安心なまちづくり（年代別）

③ 行政に関する事務の効率化

行政手続きの簡素化と答えた方が6割を超えており、次にオンライン手続きができる申請等の拡大と、行政窓口の簡素化・オンライン化に期待しています。オンライン手続きの拡大やオンライン手続きによる手数料の値下げに関しては、20歳代以下の方が期待する割合が高くなっています。

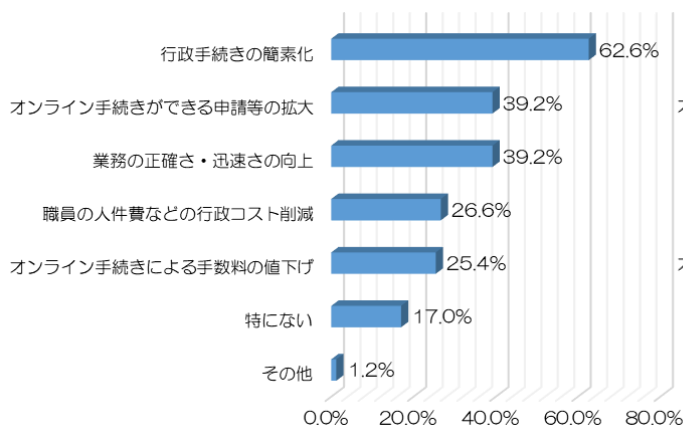


図2-23. 行政に関する事務の効率化

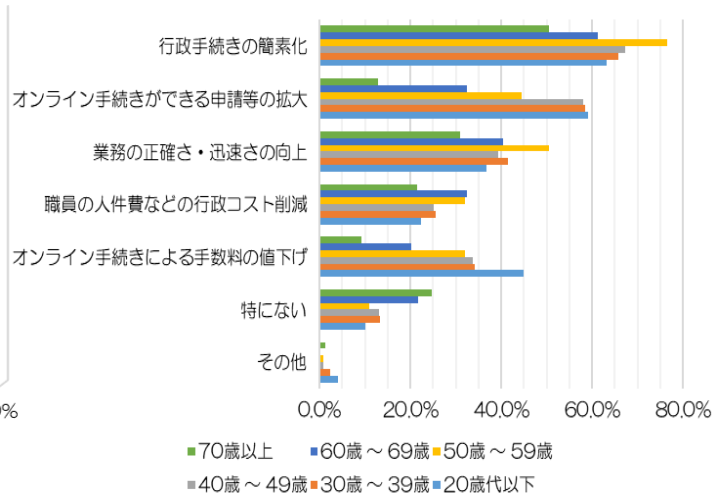


図2-24. 行政に関する事務の効率化（年代別）

## ④ 行政情報の広報

行政情報の積極的な広報活動においては、制度や手続きの変更などわかりやすい行政やイベントなどの地域情報の発信を多くの方が望まれています。年代別では、どの世代も行政や地域の情報を積極的に発信することを期待しています。

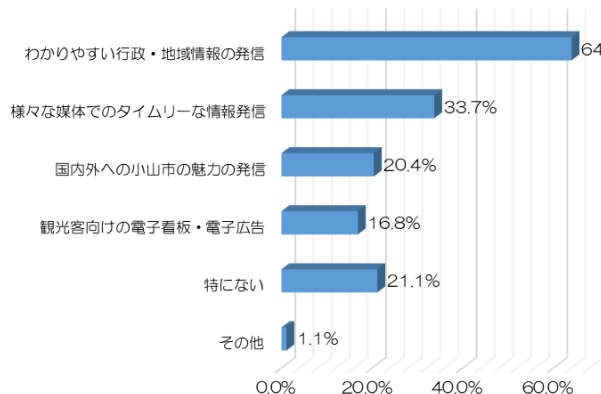
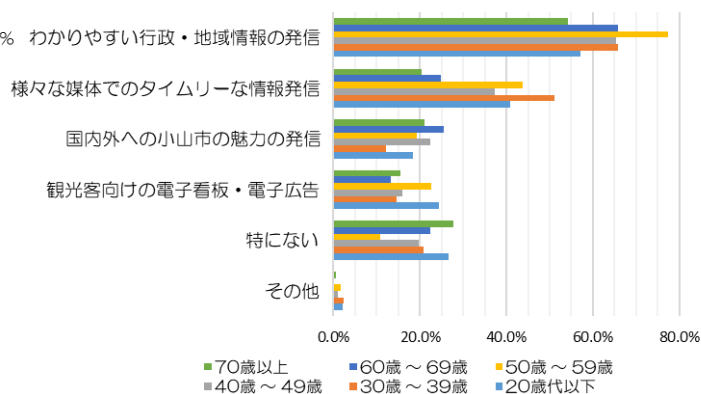


図2-25. 行政情報の広報

図2-26. 行政情報の広報  
(年代別)

## ⑤ 地域振興および地域コミュニティ活性化

地域振興や地域コミュニティの活性化においては、地域コミュニティ支援や中小企業支援・商店街振興、就労希望者と企業とのマッチング等の支援を期待しています。

20歳代の方は、就労希望者と企業とのマッチングなどの支援を期待する割合が高く、40歳代から60歳代の方は、地域コミュニティ支援を期待しています。

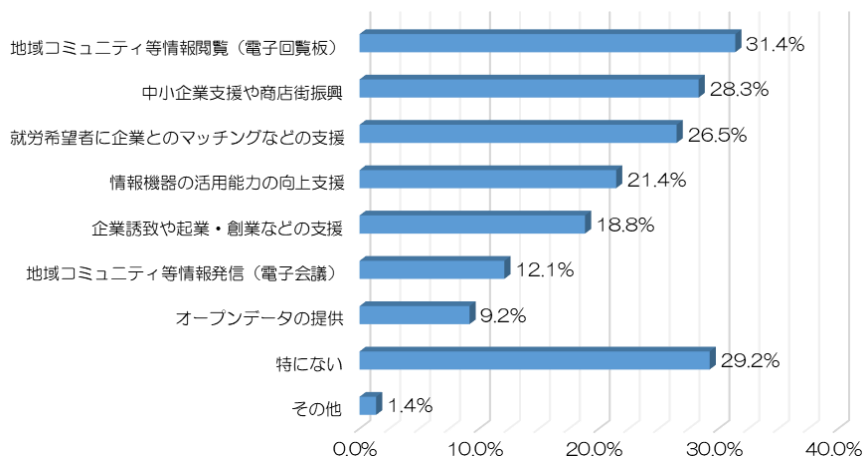


図2-27. 地域振興・コミュニケーション活性化

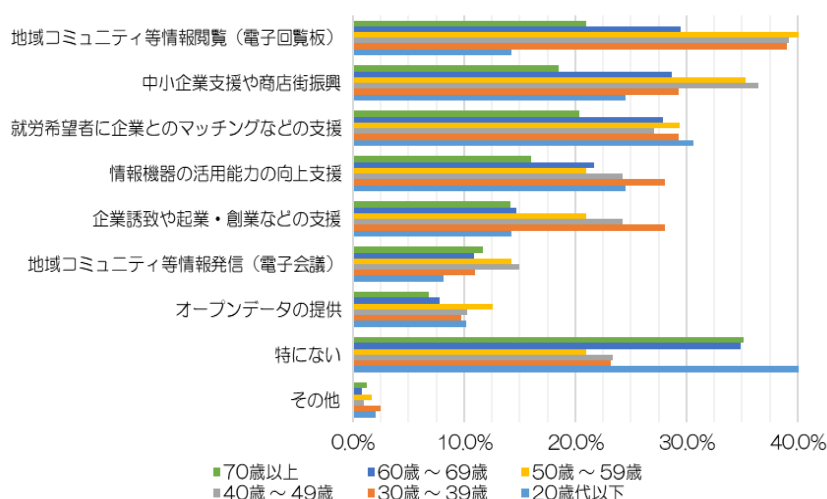


図2-28. 地域振興・コミュニケーション活性化（年代別）

(2) 各種行政サービス・地域情報の満足度

小山市が提供する各種行政サービスや地域の情報において、知りたい情報およびその満足度は以下のとおりです。

① 知りたい情報

行政情報で知りたい情報は、衣食住や資源・ゴミ回収・リサイクル、くらしの情報などの生活情報が66%と最も多く、次に、避難場所・AEDなどの防災・緊急情報が53%です。どの年代でも生活情報や健康、防災・防犯には関心がありますが、30歳代は特に、子育て・保育、学校・教育の情報に関心を持つ割合が高くなっています。

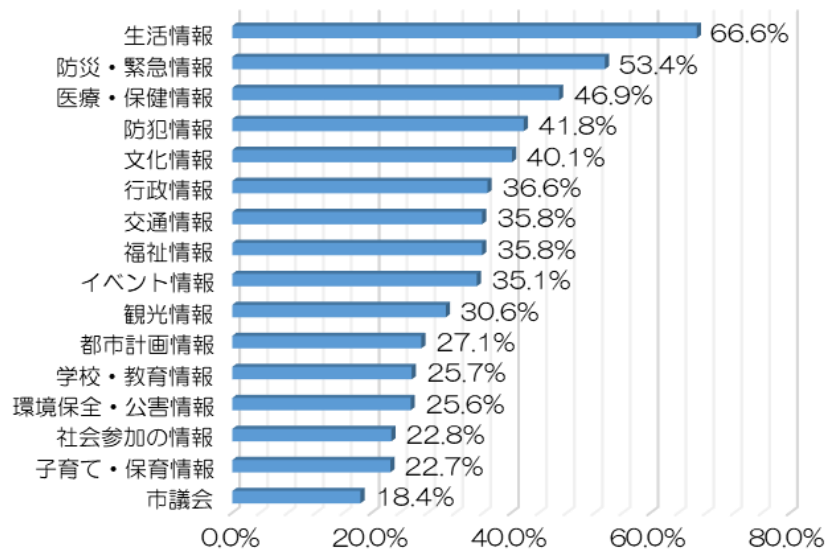


図2-29. 知りたい行政サービスや地域情報



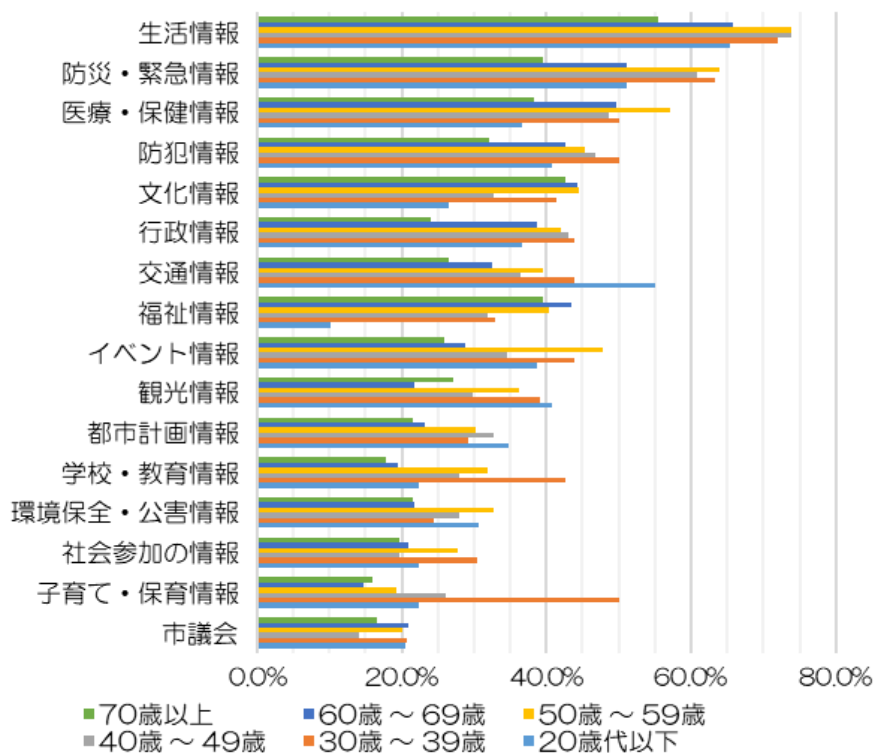


図2-30. 知りたい行政サービスや地域情報 (年代別)

② 各種情報の満足度

生活情報、文化情報、学校・教育情報、子育て・保育情報は、満足が6割を超えています。知りたい情報のトップだった生活情報は7割近くの方が満足していますが、2番目の防災・緊急情報は満足度が5割を下回っています。防犯情報、都市計画情報は、満足度が5割を下回っており、2割の方が不満を感じています。

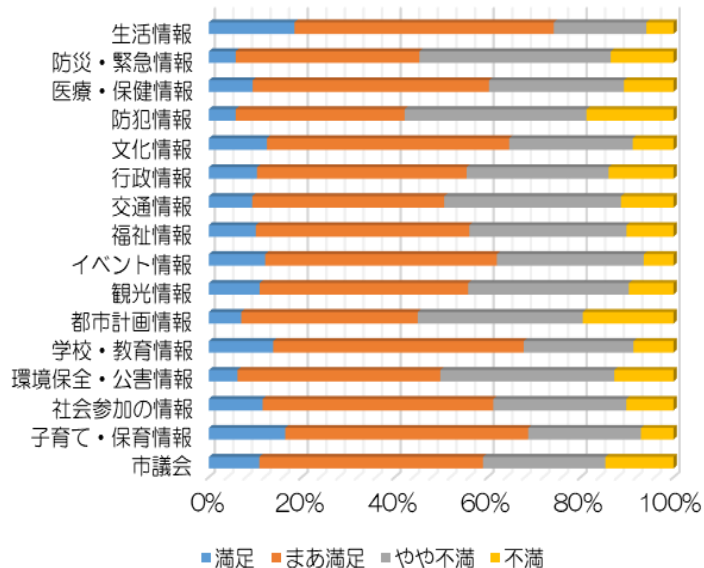


図2-31. 各種行政サービスや地域情報の満足度

年代別の各種行政サービスや地域情報に対する満足度は、以下のとおりです。

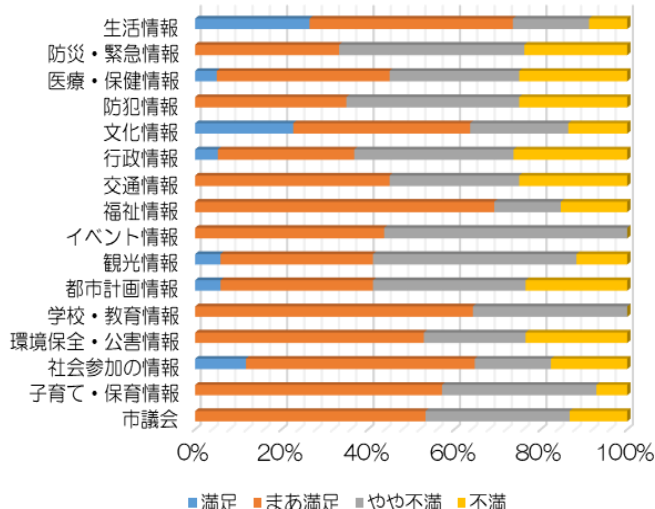


図2-32. 行政サービスの満足度(20代)

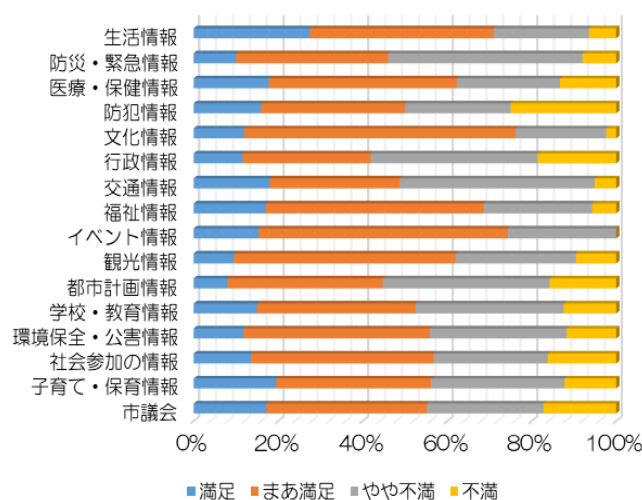


図2-33. 行政サービスの満足度(30代)

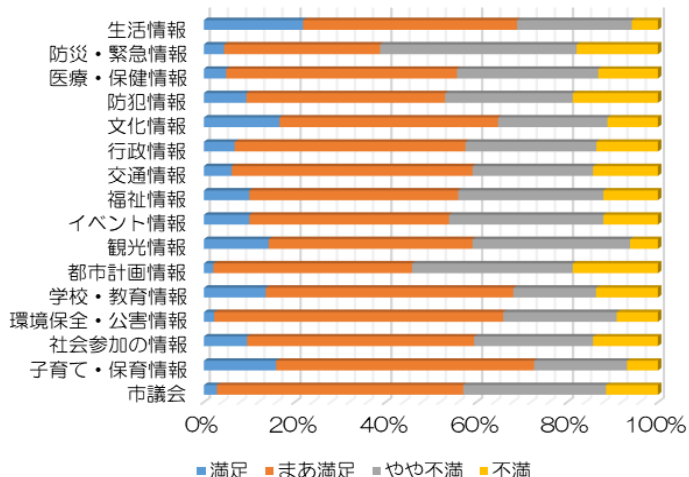


図2-34. 行政サービスの満足度(40代)

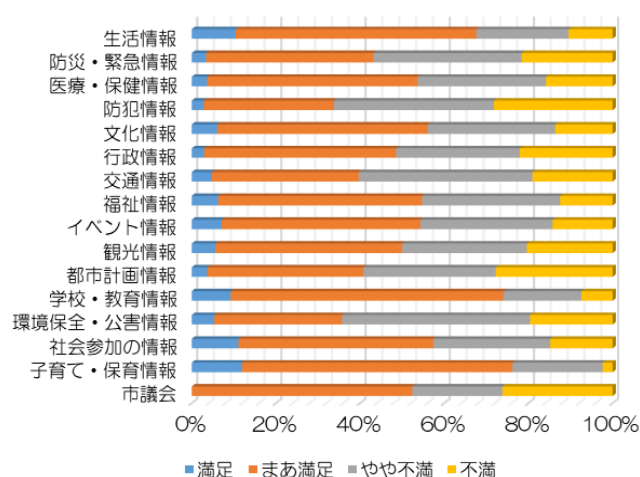


図2-35. 行政サービスの満足度(50代)

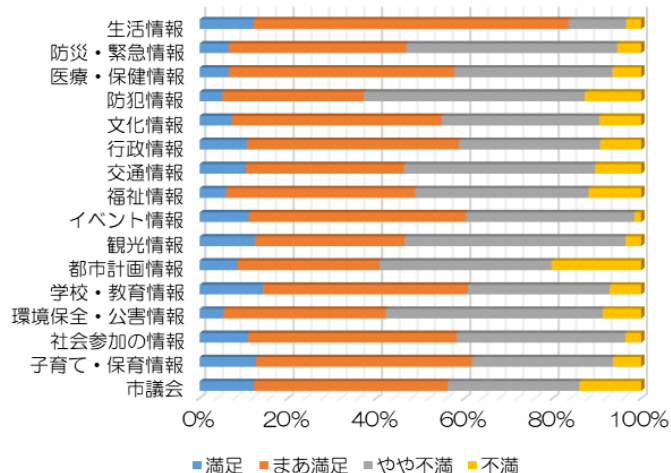


図2-36. 行政サービスの満足度(60代)

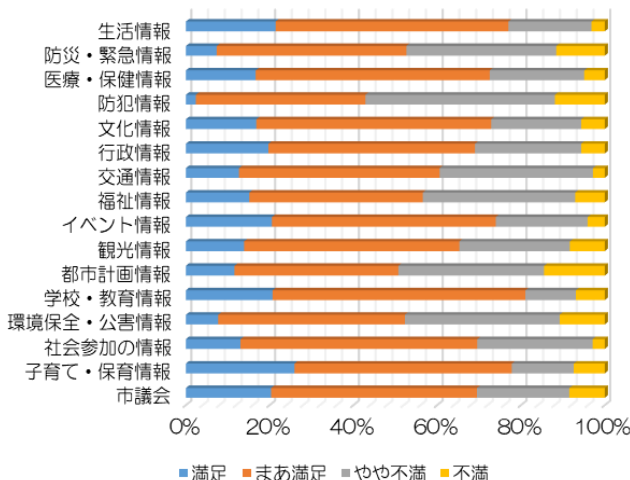


図2-37. 行政サービスの満足度(70代)

(3) 各種行政サービス・地域情報の入手方法

小山市が提供する各種行政サービスや地域の情報において、どのような方法で入手しているかは以下のとおりです。

① 入手方法

各種行政サービス・地域情報の現在の入手方法は、広報おやまが6割を超えており、回覧板も5割を超えています。今後の入手方法でも広報おやまと回答した方が一番多いですが、二番目多かったのは、小山市公式ホームページでした。今後、入手方法として利用したいとして人数が増えたものは、公式ホームページのモバイルサイト、SNS等のインターネット上での情報、おーラジ、メール配信サービス（安全安心メール）で、紙媒体以外の回答が増えています。

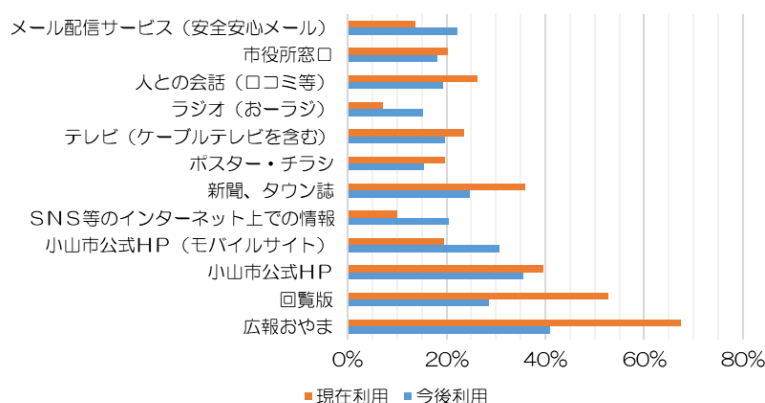


図2-38. 各種行政サービス・地域情報の入手方法

② 年代別入手方法

年代別に見ると、20歳代は、ホームページや SNS 等からの割合が高くなっていますが、年代が上がるに連れて紙媒体を選ぶ傾向になっています。また、今後の入手方法では、すべての年代で SNS 等のインターネット上での情報と回答している方の割合が増えており、紙媒体を選ぶ割合は、減る傾向にあります。

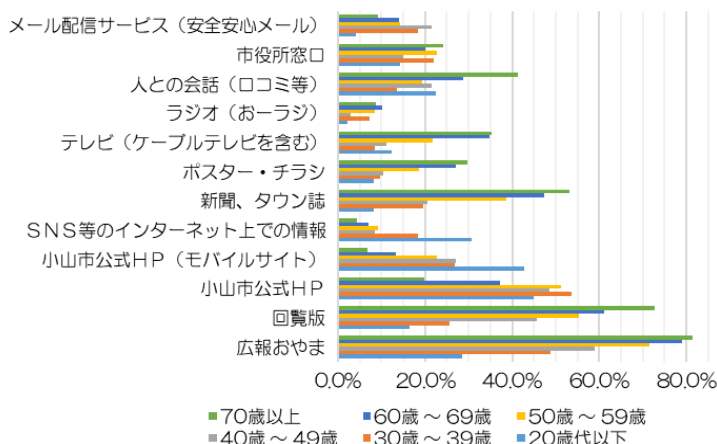


図2-39. 行政サービスの入手方法（現在）

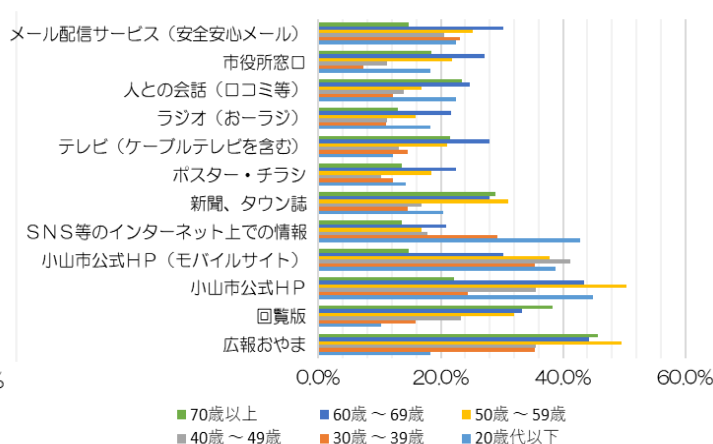


図2-40. 行政サービスの入手方法（今後）

## (4) 電子的な行政サービスの利用状況

## ① 現在の行政サービスの利用状況

電子的な行政サービスにおいて、小山市公式ホームページでの情報閲覧や市民税等の納税で、利用あり又はサービスを知っている方は、6割を上回ります。申請様式のダウンロードサービスやごみの分別方法や収集日の検索は4割の方が利用あり又はサービスを知っていますが、それ以外の行政サービスの認知度は低いようです。

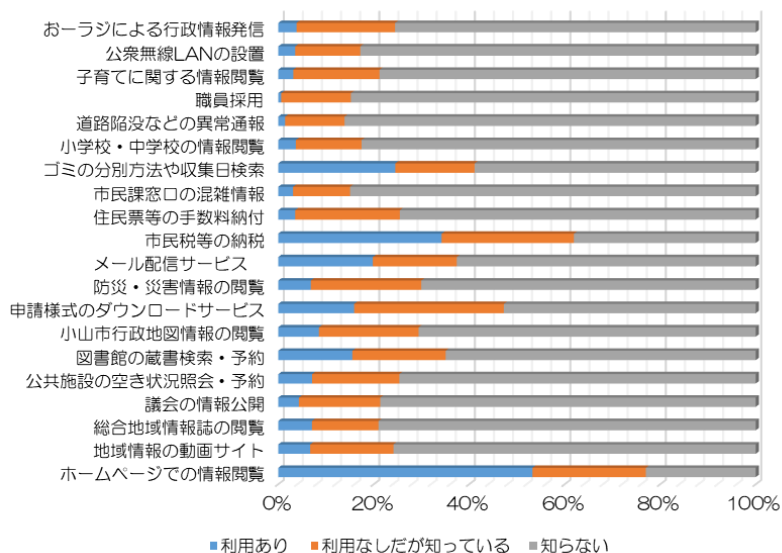


図2-41. 現在の行政サービスの利用状況

## ② 今後の行政サービスの利用予定

今後の行政サービスの利用予定においては、概ねサービスを利用する予定と回答しています。公衆無線 LAN やメール配信サービス、防災・災害情報の閲覧は、情報が提供されていることを知り、利用すると回答した方が増えました。

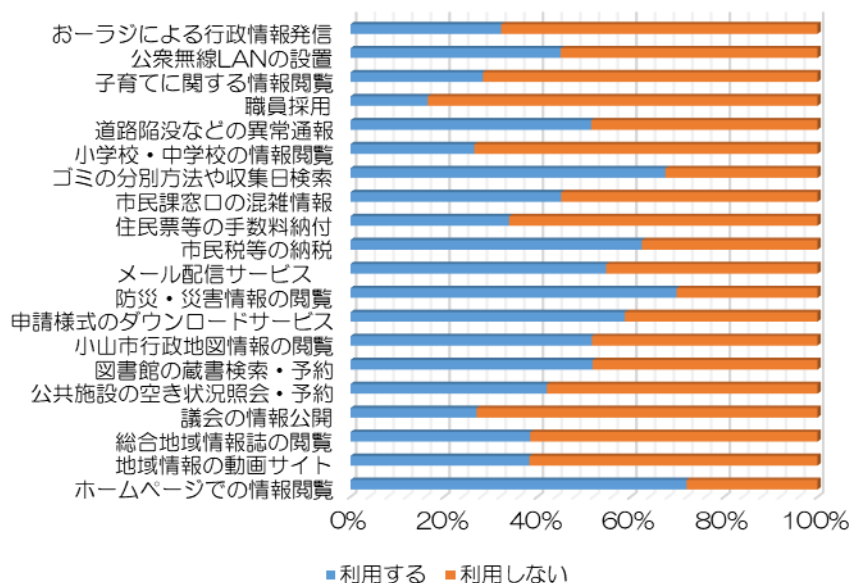


図2-42. 今後の行政サービスの利用予定

③年代別行政サービスの利用状況

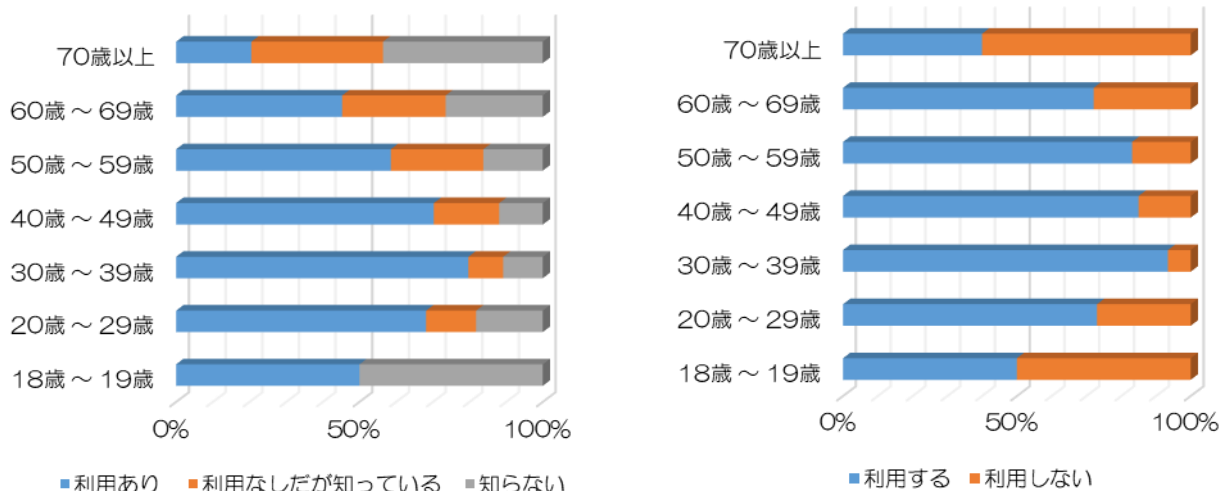


図2-43. ホームページの利用状況 (現在/今後)

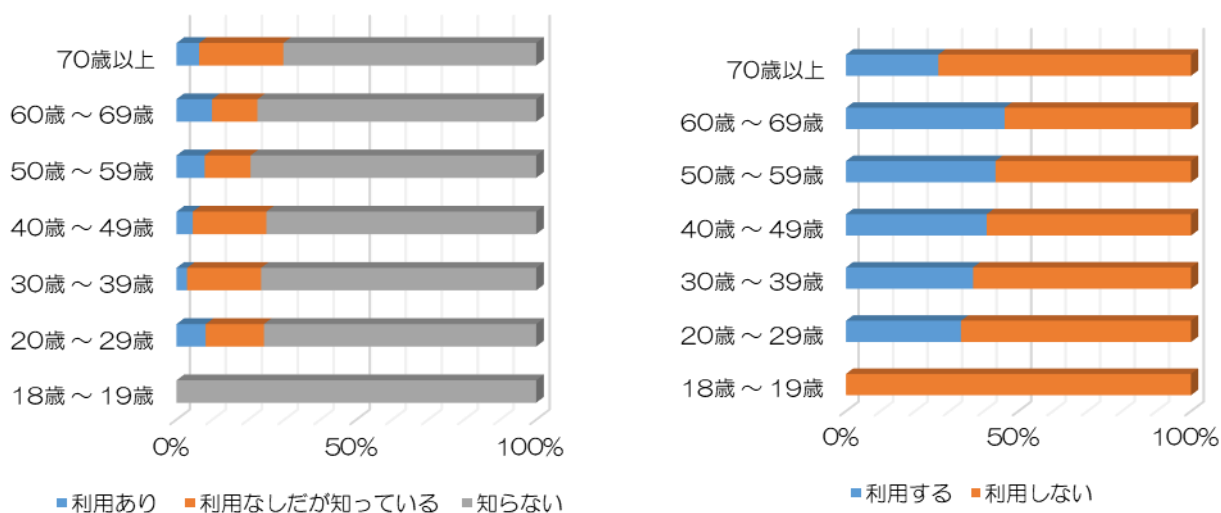


図2-44. 地域情報動画サイトの利用状況 (現在/今後)

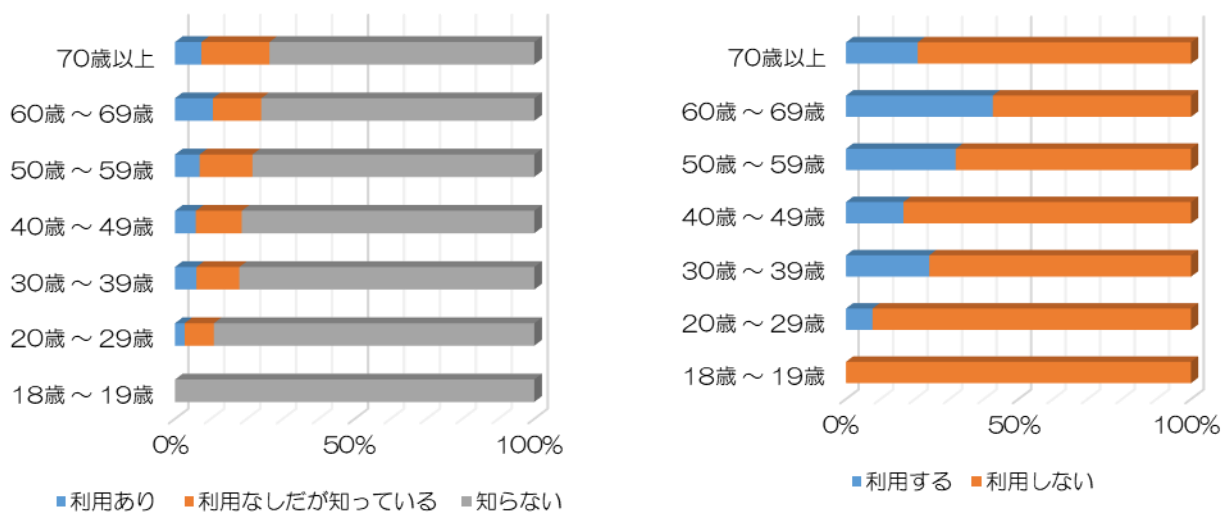


図2-45. 総合地域情報誌の閲覧 (現在/今後)

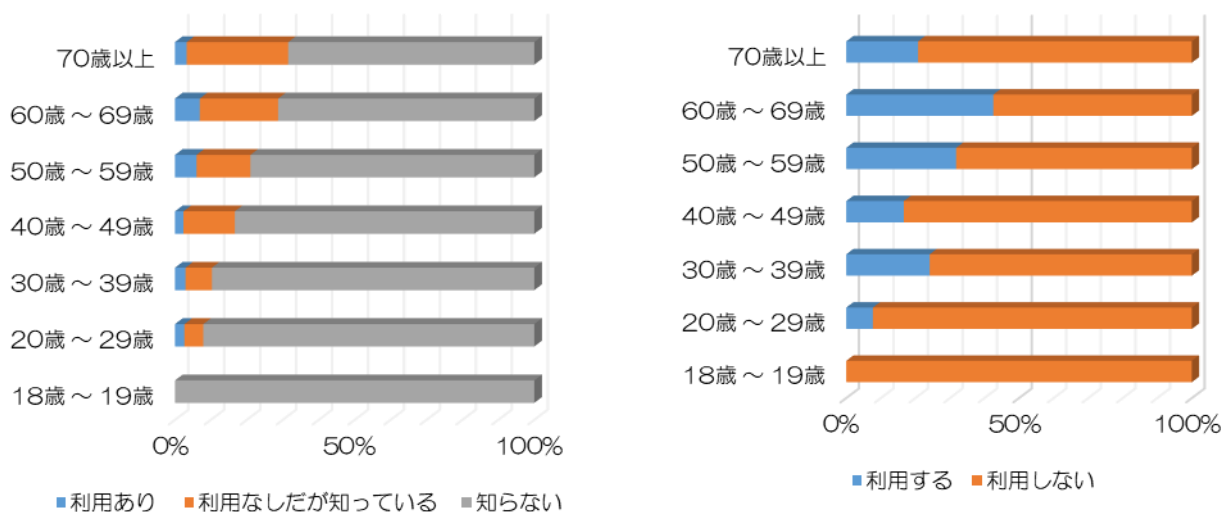


図2-46. 議会の情報公開 (現在/今後)

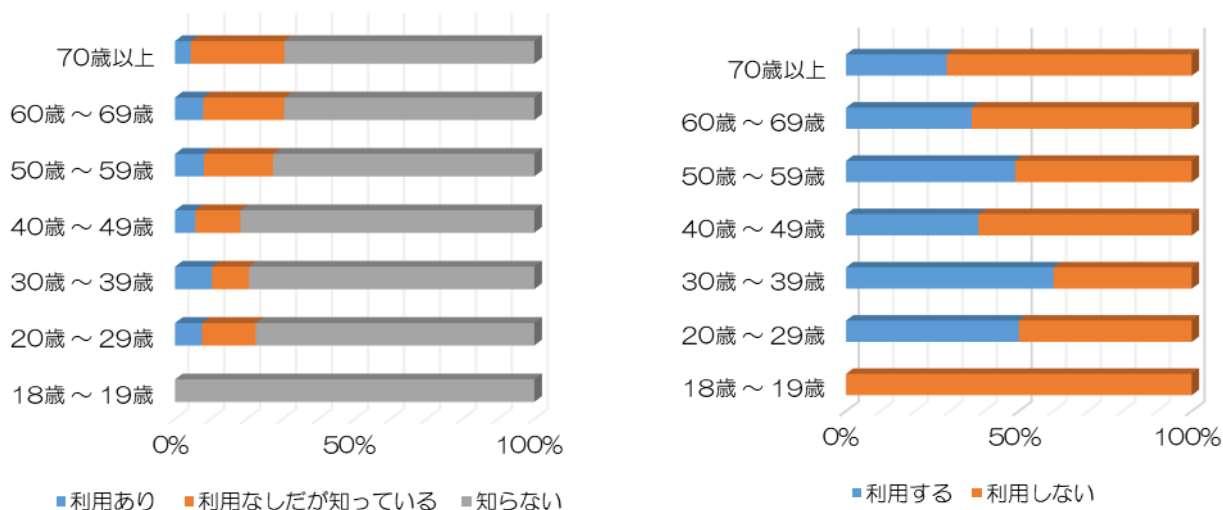


図2-47. 公共施設の利用状況・予約 (現在/今後)

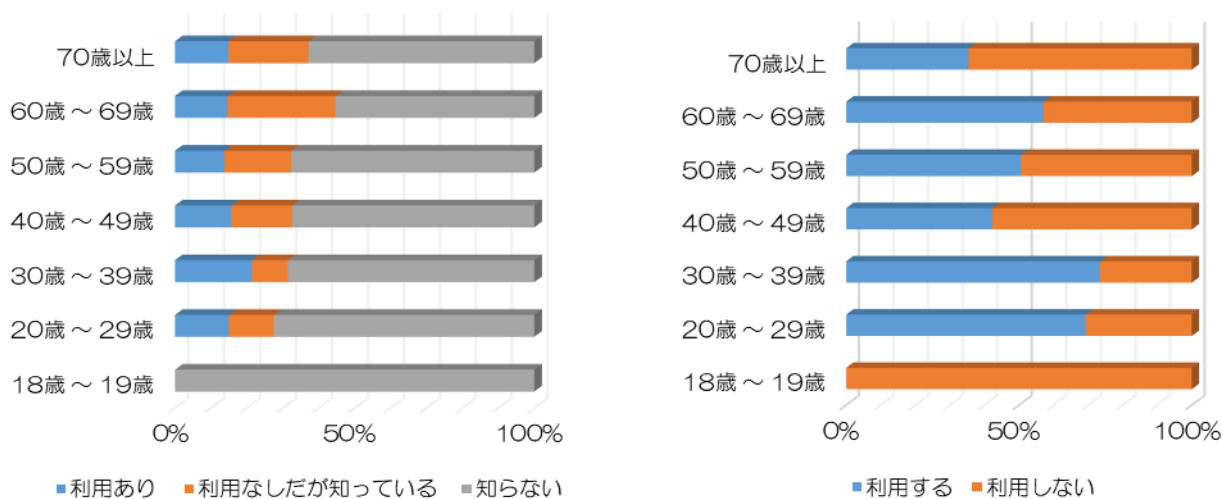


図2-48. 図書館の蔵書検索・予約 (現在/今後)

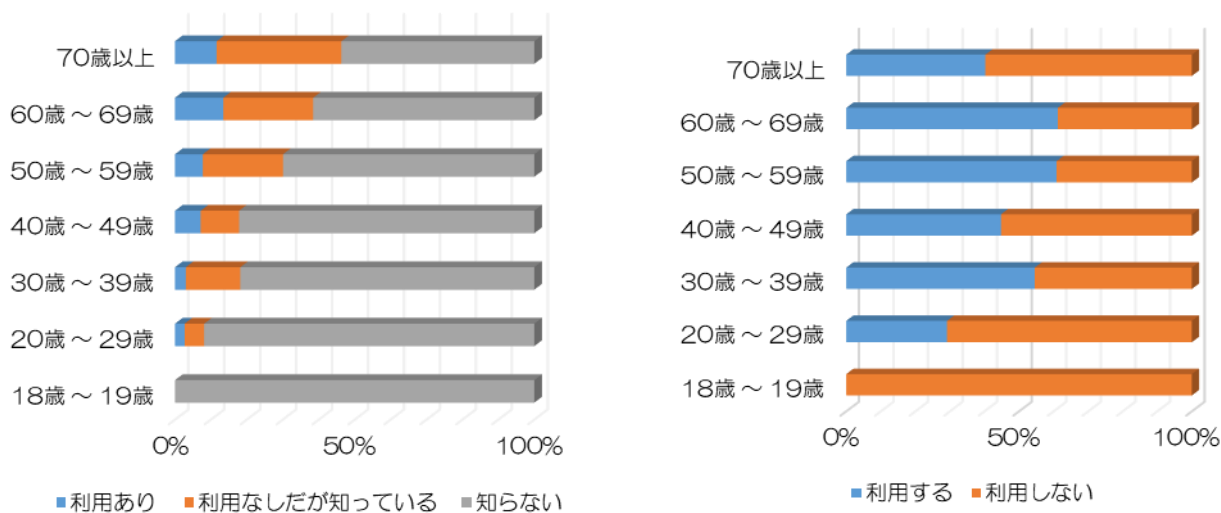


図2-49. 行政地図情報の閲覧 (現在/今後)

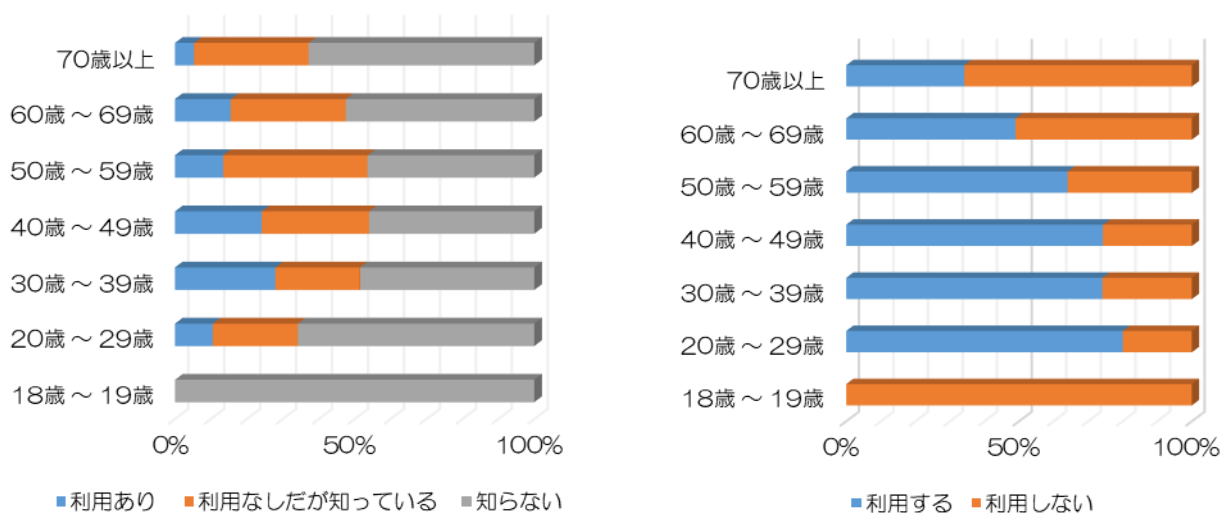


図2-50. 各種申請書ダウンロードサービス (現在/今後)

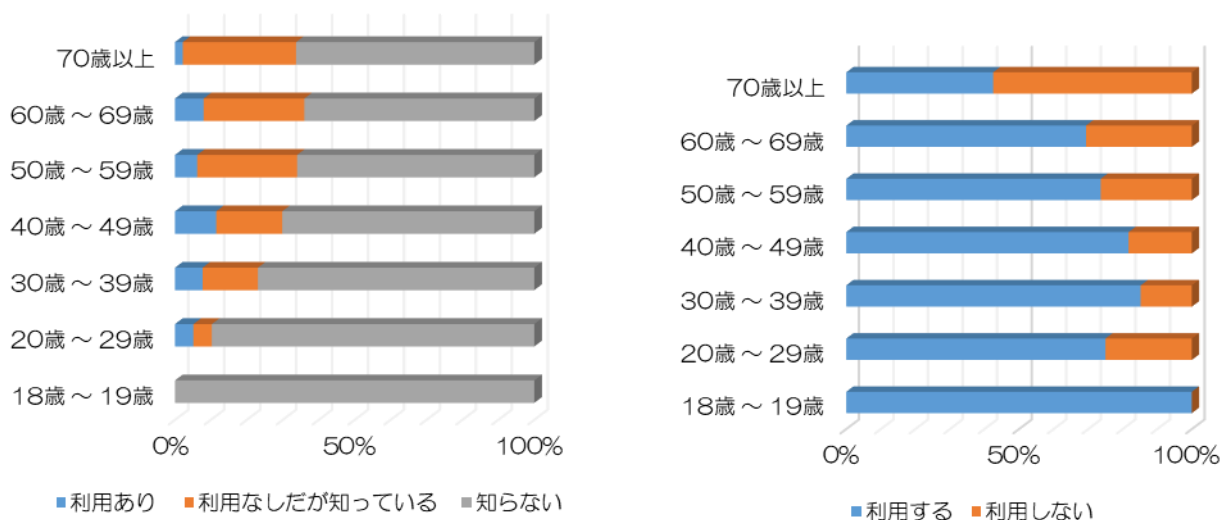


図2-51. 防災・災害情報 (現在/今後)

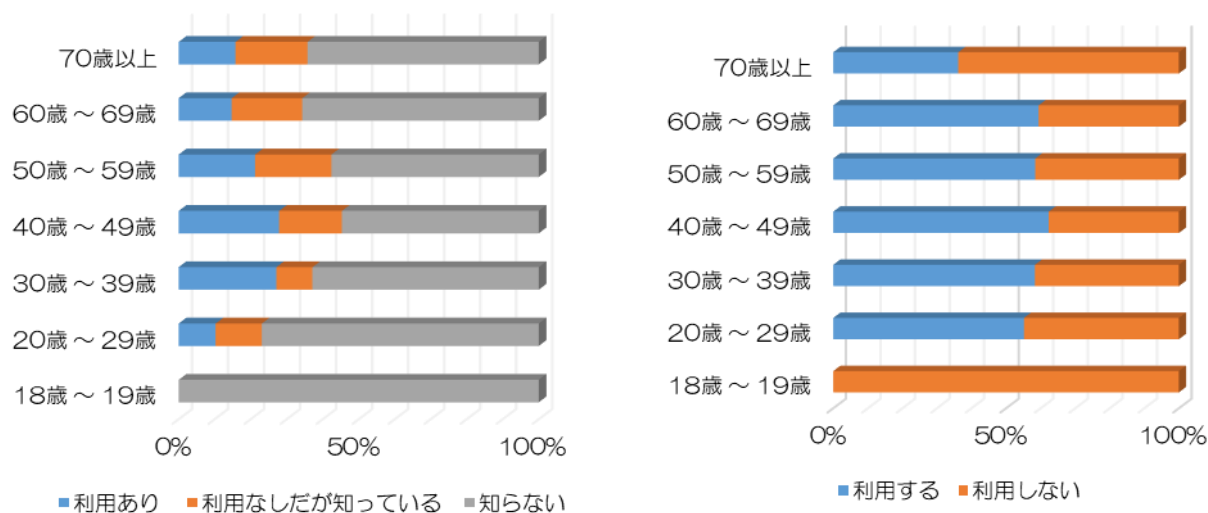


図2-52. メール配信サービス（現在/今後）

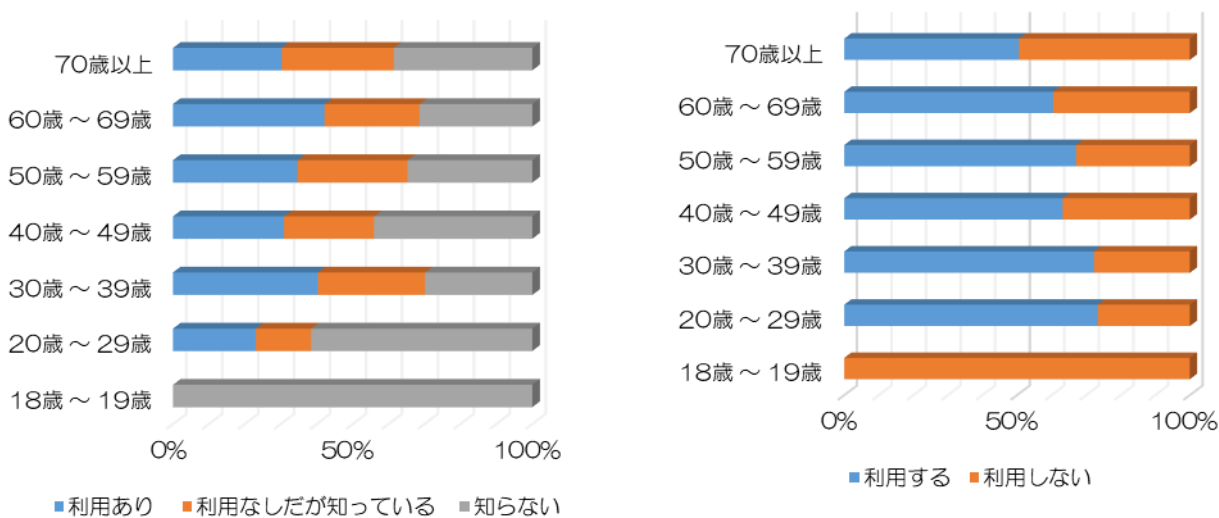


図2-53. 市民税等の納税（現在/今後）

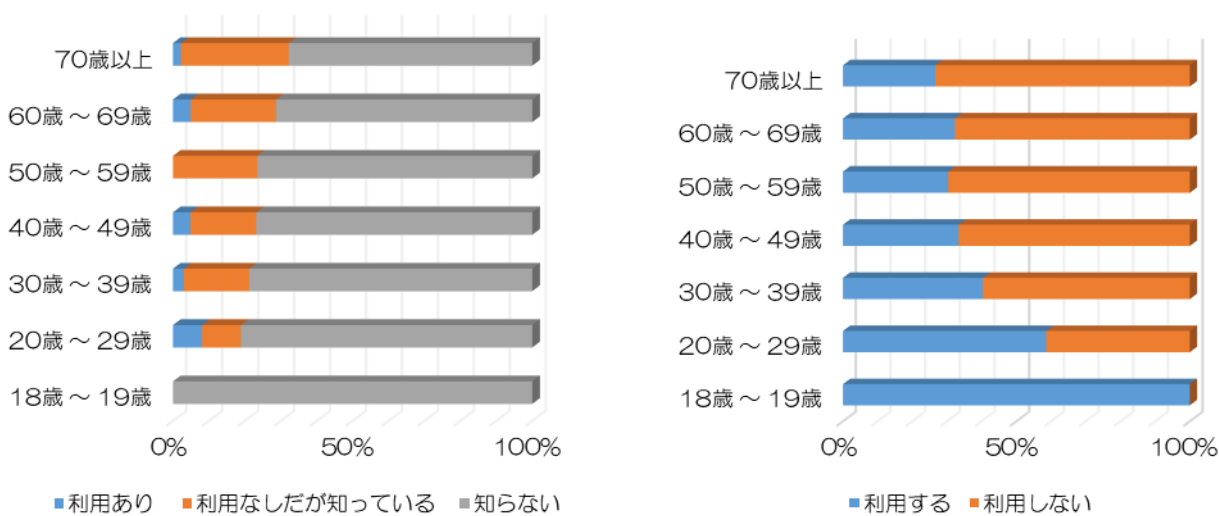


図2-54. 住民票等の手数料納付（現在/今後）



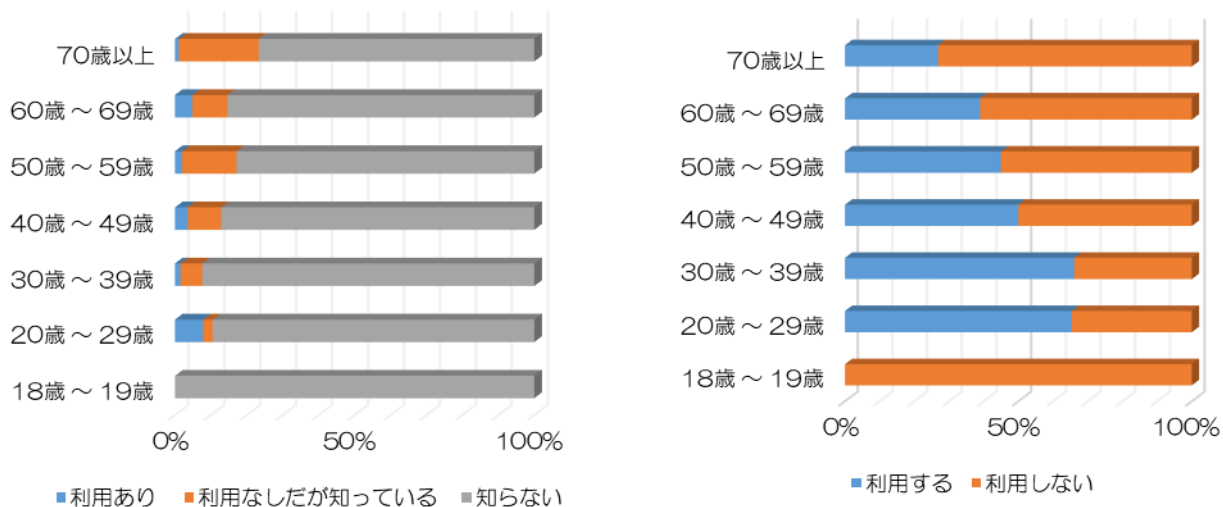


図2-55. 市民課窓口の混雑情報 (現在/今後)

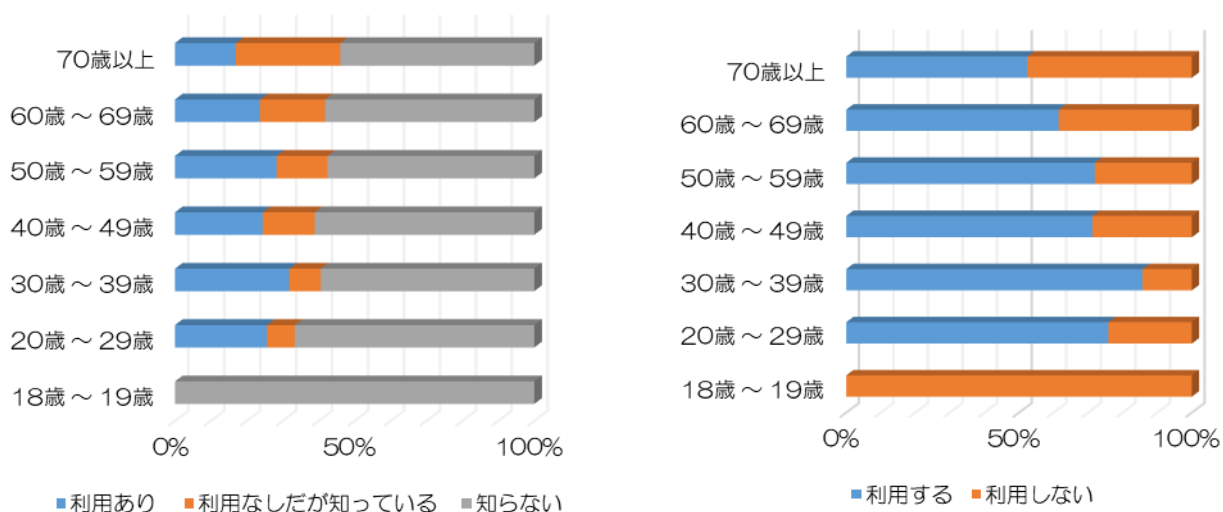


図2-56. ごみの分別方法や収集日検索 (現在/今後)

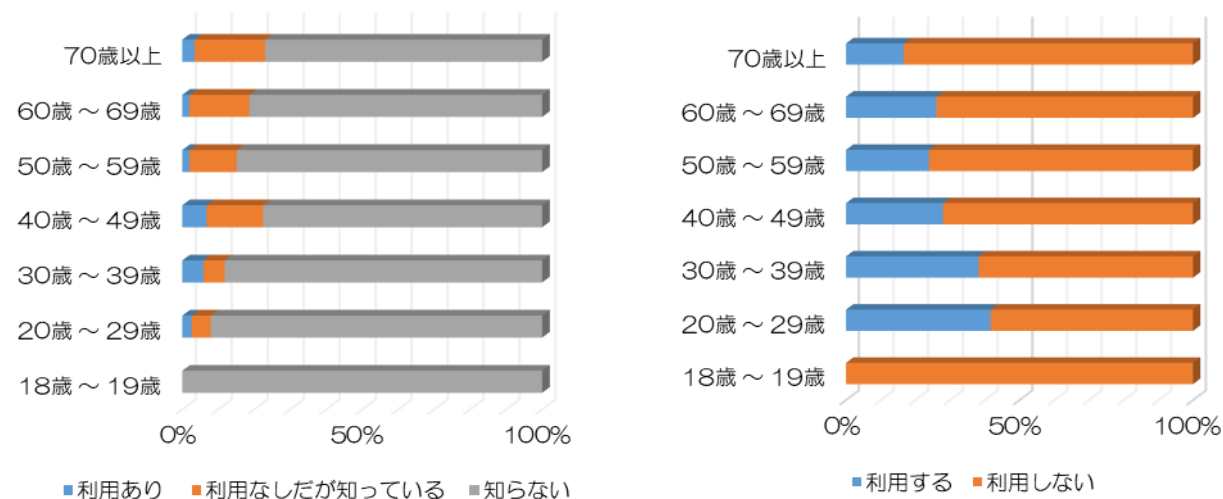


図2-57. 小学校・中学校の情報閲覧 (現在/今後)

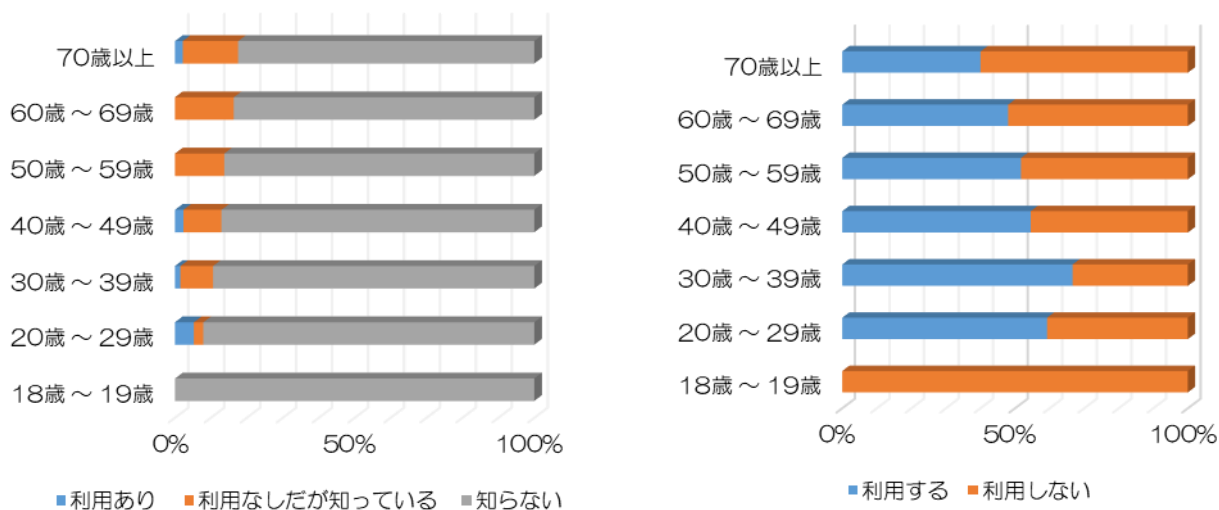


図2-58. 道路陥没などの異常通報（現在／今後）

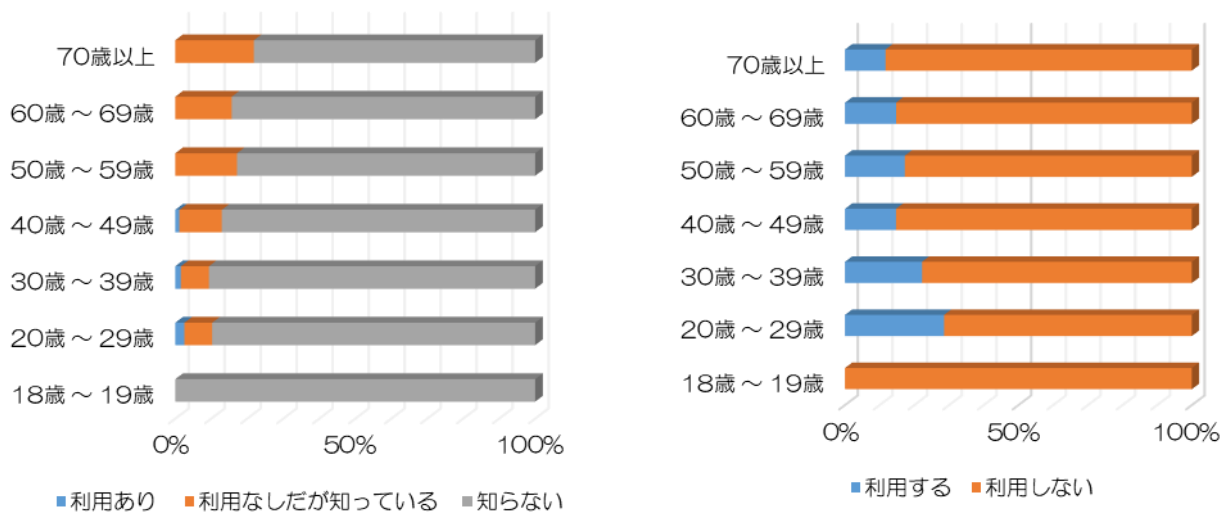


図2-59. 職員採用情報（現在／今後）

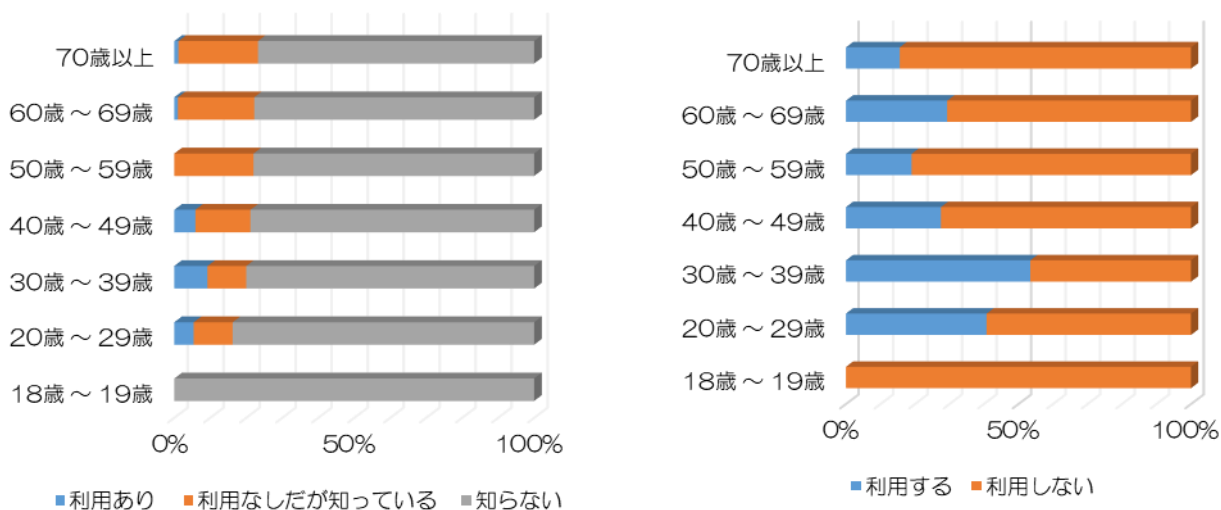


図2-60. 子育てに関する情報（現在／今後）

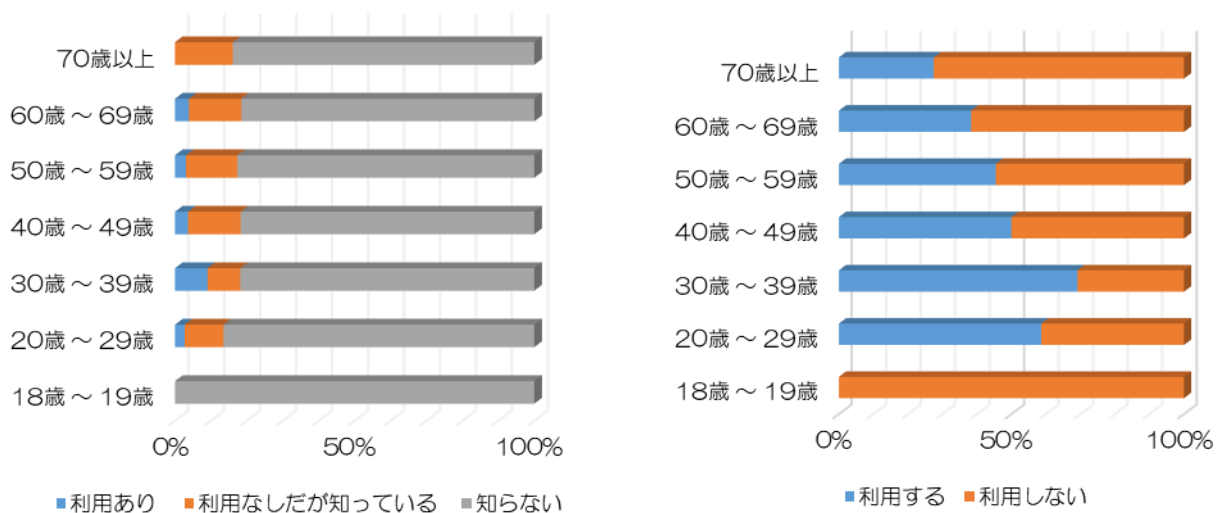


図2-61. 公衆無線の設置（現在／今後）

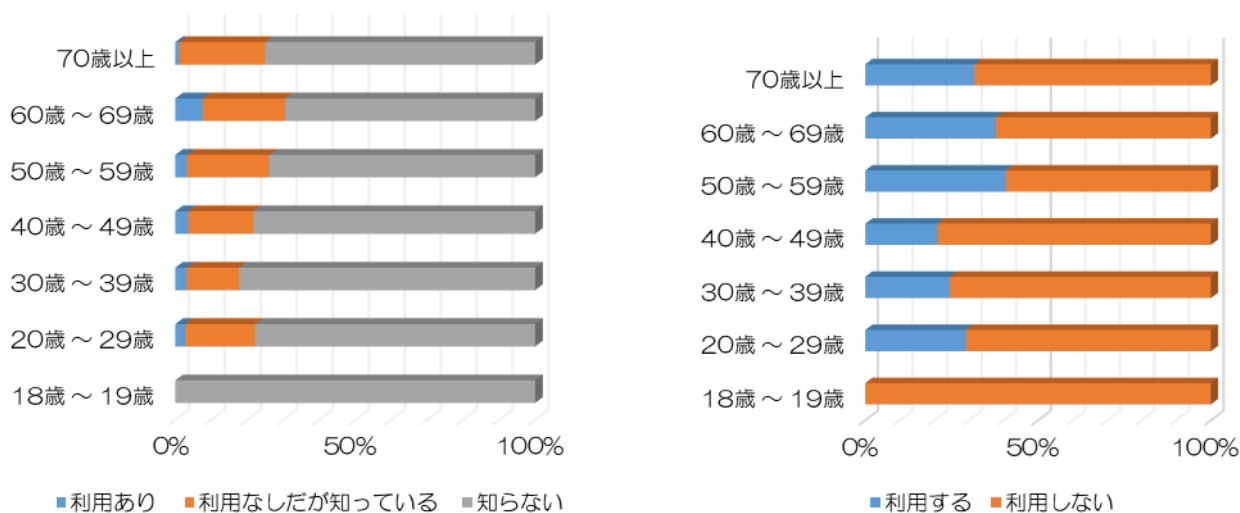


図2-62. おーラジによる行政情報発信（現在／今後）

## (5) 行政サービスを利用しない理由

小山市が提供する電子的な行政サービスを利用しない理由は、以下のとおりです。サービスがあることを知らなかったと回答した方が約2割いましたが、直接相談をしながら手続きをしたいと考えている方も多くみられます。

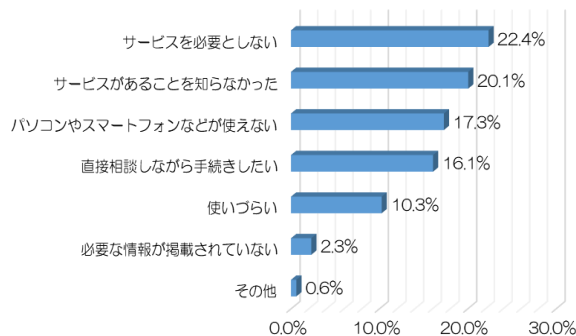
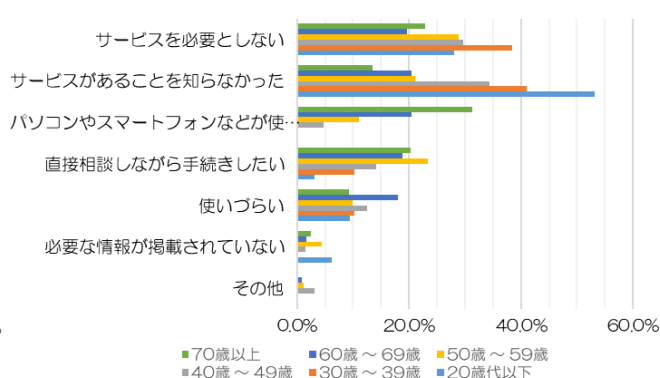


図2-63. 行政サービスを利用しない理由

図2-64. 行政サービスを利用しない理由  
(年代別)

## (6) 情報化進展への不安

今後さらに情報化が進んだ場合に不安と思うことは、以下のとおりです。情報漏えいやウィルス感染について不安に思う方が71%おり、セキュリティ対策方法が不明など情報セキュリティに関する不安が多いようです。また、情報機器を使いこなせないことにより行政サービスを受けられない不安もあるようです。

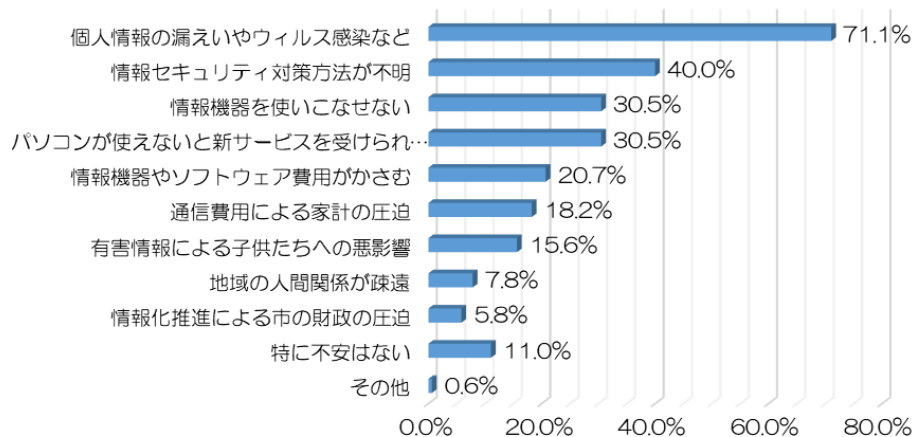


図2-65. 情報化進展への不安

年代別に見ると、どの年代でも情報漏えいやウィルス感染などの情報セキュリティに関して不安を感じているようです。高い年代の方は、パソコンが使えないと行政サービスを受けられないなどの不安が増すようです。

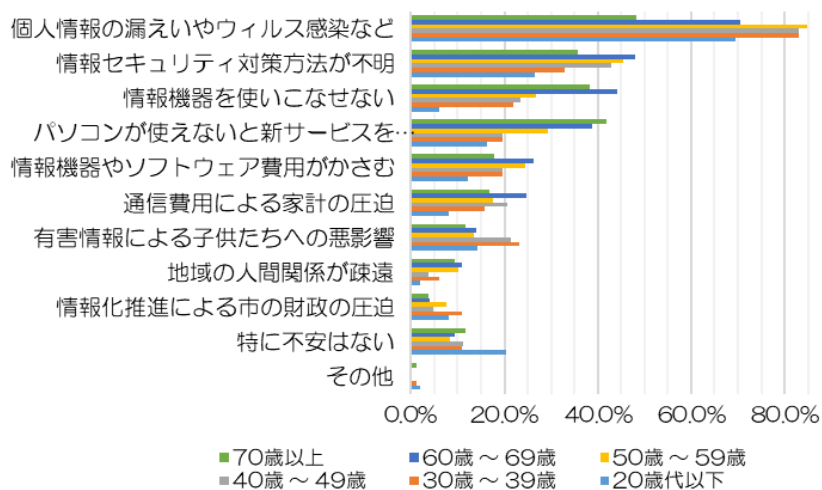


図2-66. 年代別情報化進展への不安

(7) 情報化支援

今後、情報化を進めるにあたって、どのような支援策が必要であるかは、以下のとおりです。相談窓口の設置や講習会等の支援を希望している方が多いようです。

年代別に見ると、50歳代以上の方は、講習会などの支援を望んでいる方が多いですが、40歳代以下の方は、手続き等への優遇措置付与を望んでいます。

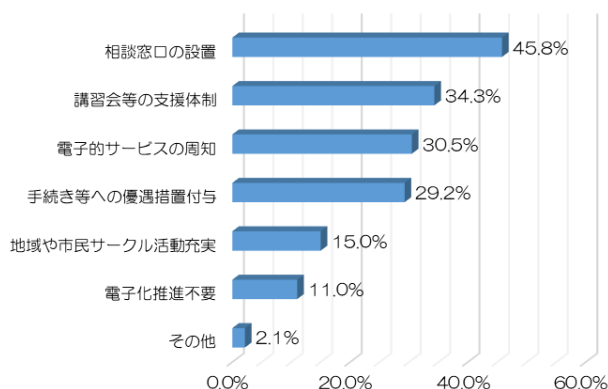


図2-67. 必要な情報化支援策

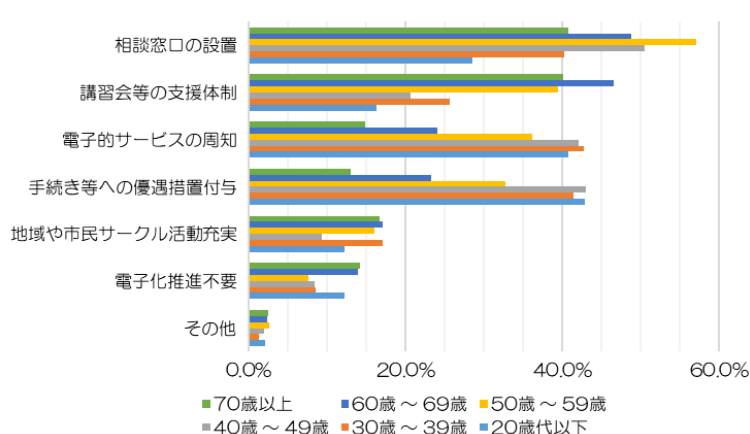


図2-68. 年代別の必要な情報化支援策

(8) メール配信サービス

小山市では「安全・安心メール」により各種の行政情報を発信しています。その利用状況は以下のとおりです。45%の方は、メール配信サービスを知らないか、または利用していないようです。しかし、メール配信サービスを移用している方からは、情報を手軽に入手できるとして評価されています。

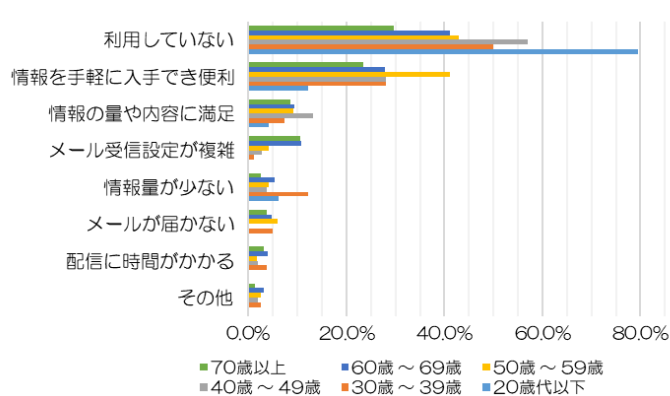
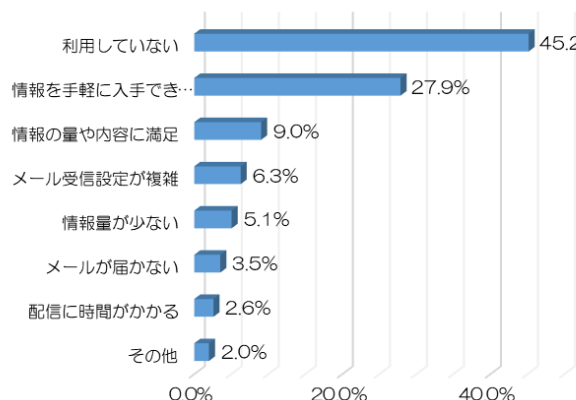


図2-69. メール配信サービス利用状況

図2-70. 年代別メール配信サービス利用状況

(9) メール配信への要望

メール配信サービスである「メルマガおやま」に対しての要望は、以下のとおりです。

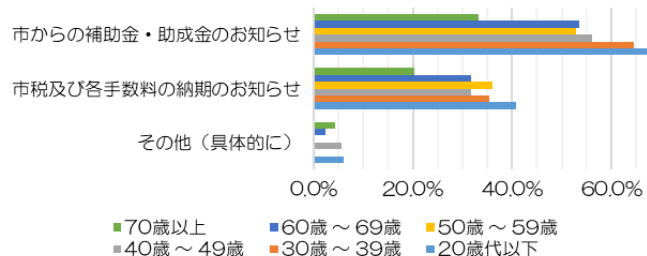
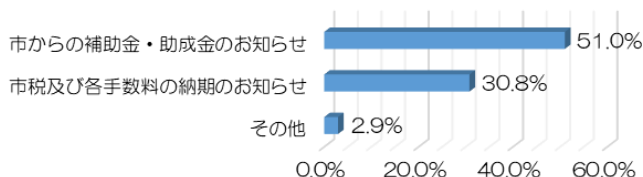


図2-71. メール配信サービス要望

図2-72. 年代別メール配信サービス要望

(10) オープンデータ化

市が所有するデータを提供する公共データのオープン化を推進します。どのような公共データの開示を希望するかは、以下のとおりです。

消防・防災などの災害に関する情報や公共施設の情報、都市計画情報の開示を希望しているようです。

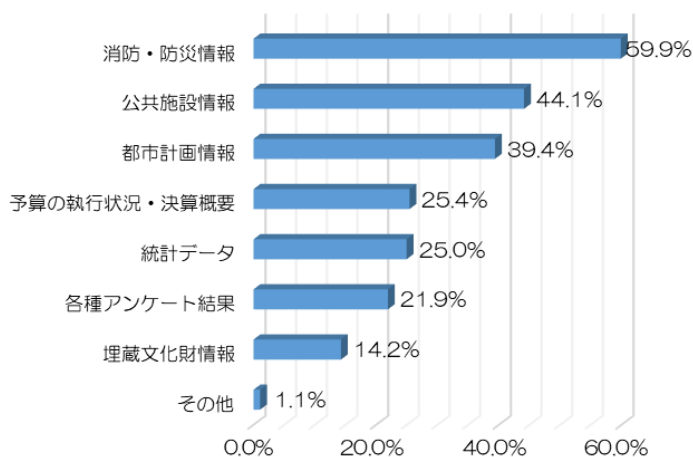


図2-73. 開示希望の公共データ

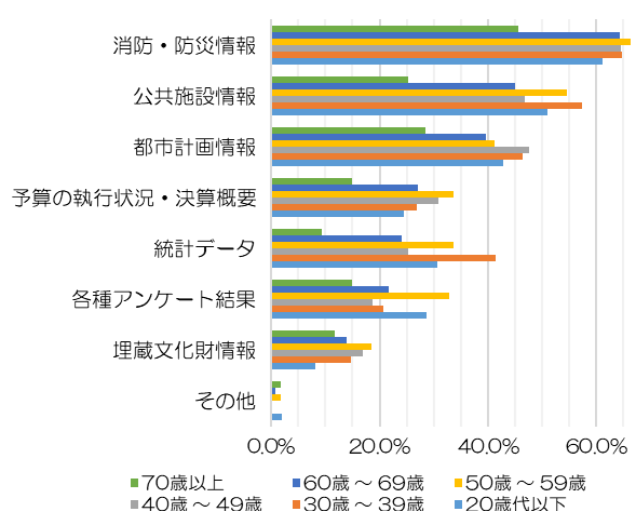


図2-74. 年代別開示希望の公共データ

(11) ホームページ利用状況

小山市公式ホームページに対する利用者の感想は、以下のとおりです。34%の方が利用していないと回答しています。必要な情報が掲載されていると回答する方がいる一方で、情報が見つげにくい、情報の掲載が不十分、便利なサービスが少ないなどと感じている方も多くいます。

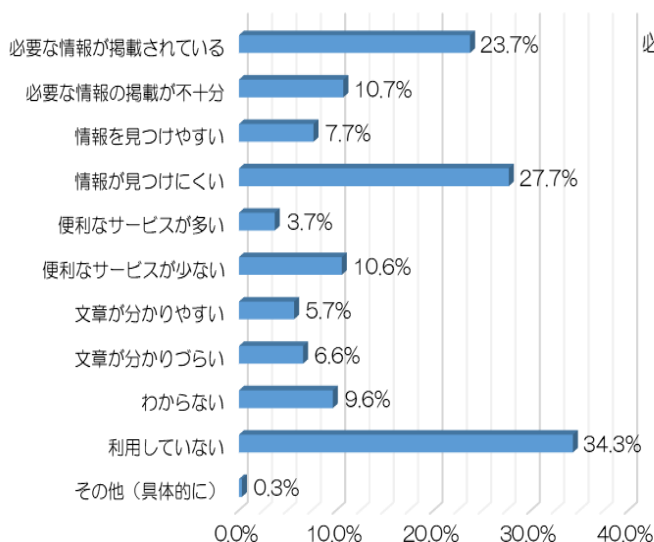


図2-75. 小山市ホームページ利用状況

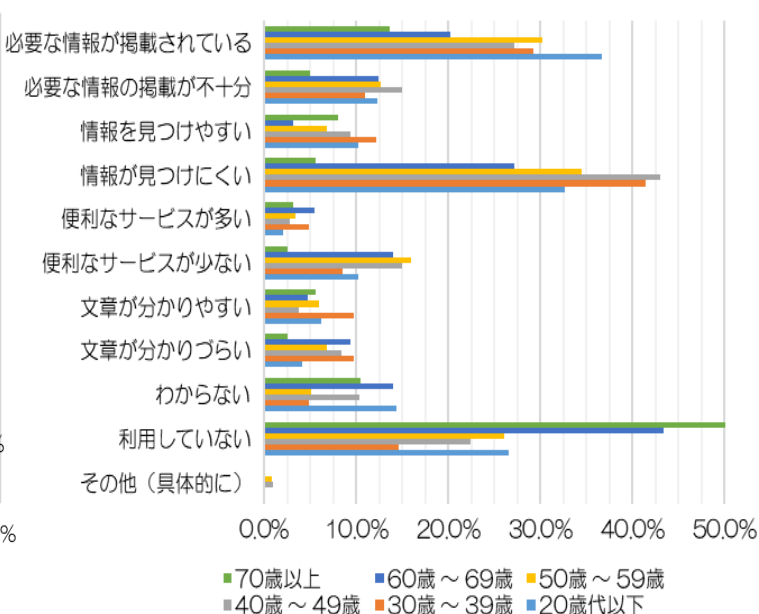


図2-76. 年代別ホームページ利用状況

## (12) 小山市公式ホームページについてどのような感想をお持ちですか

1	字が小さくてごちゃごちゃしている。PDFが多いと見る気にならない
2	公式ウェブサイトは日々便利に楽しんでいます。
3	他の市町村に比べて、更新がまったりしている
4	小山市の魅力のページは字が多く、見る気がしない。写のスライドショー等でページ構成を工夫したほうが良いと思われる。
5	民間でないのだから、みためより、政策に重点をおくべき。
6	壁紙には季節ごと小山の風景を入れやすさ、楽しさを考えてほしい

## (13) 小山市公式ホームページにどのようなサービスがあるといいですか(代表的なご意見)

1	自動チャット機能(簡単な質問はそこで解決できて、それでもわからないが解決しないときは問合せ先を教えてくれるようなもの)
2	全体的に見やすい。トップページの「暮らし」「産業仕事」「観光」「市政情報」の下に、「電子申請一覧」を入れてみてはどうでしょう。せっかく便利な情報データベースがあるので、新しい1項目に入れてやると一層みやすくなると思います。
3	チャット形式で答えてくれるAI
4	小山市の魅力をもっとアピールする努力がほしい。県外や市外から転居して来たいと思うようなアピールポイントを発信してほしい。
5	子育てに関する情報がほしい。保育園、幼稚園の事や、利用できる子育てイベント、施設をもう少しわしくのせてほしいし、常に見れて、更新して欲しい。
6	観光情報をもってあると良い
7	住民票、印かん証明書等の届け出の特設サイトの設置し、届け出をインターネットで申請し、コンビニ等で受け取れるサービス。
8	各種書類(住民票・戸籍謄本等)の窓口を一覧表にしてどの窓口で申請すれば良いかわかりやすくして欲しい。
9	イベントの掲載をふやしてほしい(小さいイベントが少ないので)
10	市民交流の場、市主催の講座、市主催のサークル提供
11	災害発生時の避難所情報、ハザードマップの充実
12	処分できる物、出来ない特の区分等ゴミ処分場の詳細の説明が欲しい



## (14) 小山市の情報化施策全般について、ご意見やご要望（代表的なご意見）

1	マイナンバーを付与しているのであれば、行政手続きに関するものを早急に一元化してほしい。
2	パソコンや携帯の操作が不得意の方でも分かりやすく操作できるように簡単な画面にして頂けるとよいと思います
3	高齢者が理解しやすい情報の提供。
4	全てスマホで見ることができればいいのだが、使いこなせていない。画面を見ながら操作教えていただければ色々利用したい。
5	
6	情報発信はホームページを活用してほしいが今までの紙ベースもなくさないでほしい。
7	これからはスマホの時代なので、スマホに重点を置いて進めるべき
8	窓口に行くことを少なくしたい(いる時間を少なく)手続きの簡素化希望です
9	災害時の情報を迅速にスマホで見られると役立ちます。
10	情報通信技術を使えない人達に対する配慮が必要
11	とても身近な SNS になっている LINE や Instagram を利用して公式のアプリをつくったりすれば、より小山市の情報を手軽に様々な人に届けることができるかなと思います。
12	この先人口は減少し、市の職員数の確保も難しくなるかもしれません。情報化と、それに伴う自動化は、積極的に進めるべきと考えます。
13	電子メールになれていない人のこともよく考えて情報施策を行って下さい。
14	ハザードマップの充実、河川情報・道路の冠水情報
15	AI やアウトソーシングの活用を期待しています。
16	パソコン・スマートフォンを使える人ばかりではないと思うので、利用できる人も利用しない人も差がないように情報提供してほしい。
17	インターネット環境がない家庭にも、様々な情報が届くようご尽力いただきたい。

